

# デジタルワイレスインターカムシステム

型  
名

## WD-2000 シリーズ

## 設置説明書

(データ設定説明書)

### — お買い上げありがとうございます —

ご使用の前に、この「データ設定説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。  
製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。  
この説明書は再生紙(古紙 100%)を使用しています。

## ■本文中の記号の見かた



操作上の注意が書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。











参考ページや参考項目を示しています。

## ■本書の記載内容について

- ・ 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- ・ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書で ™、®、© などのマークは省略してあります。
- ・ 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

# もくじ

	はじめに .....	5
	準備するもの .....	5
	各機種の呼び名について .....	5
	システムデータ設定について .....	6
	システムデータ設定中の注意事項 .....	6
	ポート番号について .....	7
	システム設定の手順 .....	8
	主装置の電源の入れかた・切りかた .....	9
	多機能電話機の使いかた .....	11
	プログラムモードの使いかた .....	12
	日付と時刻の設定 .....	14
	子機登録 .....	15
	インカムのグループ数の設定 .....	17
	子機、多機能電話機のインカム通話グループメンバー登録 .....	18
	放送入出力ユニットのインカム通話グループメンバー登録 .....	21
	その他の設定 .....	24
	■子機の機能ボタン、多機能電話機のファンクションボタンの設定 .....	24
	■放送グループの設定 .....	26
	■外線の設定 .....	27
	動作の確認 .....	36
	システムデータのセーブ .....	37
	システムデータのロード .....	39
	システムデータの初期化 .....	40
	システムソフトのバージョンアップ .....	41
	プログラム詳細 .....	42
	プログラム一覧 .....	42
	プログラム詳細説明 .....	44
	多機能電話機での文字入力のかた .....	101
	子機設定ソフトウェアについて .....	103
	インストール .....	103
	子機と PC の接続 .....	103
	本体 SW 動作モードの設定 .....	104
	本体 SW 長押し確定時間の設定 .....	104
	機能ボタンへの機能割り付け .....	105
	音量レベルの設定 .....	106
	圏外お知らせ音の設定 .....	106

 こんなときは .....	107
インカムの通話グループ定員数の変更ができない .....	107
インカムの個別グループの設定の変更ができない .....	107
子機登録が正常に終了しない .....	107
子機がインカムの通話グループに参加できない .....	108
多機能電話機がインカムの通話グループに参加できない .....	109
放送入出力ユニット経由で音声の入力または出力ができない .....	100
子機の機能ボタンが正常に動作しない .....	110
グループ切り換えができない .....	110
内線ポート番号から内線番号を調べる .....	111
内線番号から内線ポート番号を調べる .....	111
放送入出力ユニットのポート番号を調べる .....	112
外線のポート番号を調べる .....	113
使用していた子機を代替子機と入れ替える .....	114

## はじめに

- このWD-2000シリーズは、はじめにシステムデータを設定しないと使用できません。  
この説明書を参照してシステムデータを設定してください。
- 使用開始後に、設定を変更するときにもこの説明書を参照してください。
- 設置説明書（工事説明書）もあわせてご覧ください。

## 準備するもの

名称	使用する作業	参照ページ
子機設定ソフトウェア 子機設定用 PC インターフェースアダプター PC（パソコン） RS-232-C ストレートケーブル	子機登録 子機の各種設定	15 ページ 24 ページ 103 ページ
コンパクトフラッシュカード コンパクトフラッシュカード用 PC アダプター	システムデータのセーブ システムデータのロード システムソフトウェアのバージョンアップ	37 ページ 39 ページ 41 ページ

\* コンパクトフラッシュカードは、16MB 以上 64MB 以下のものをご使用ください。次のものが動作確認済みです。

- ・バッファロー製 RCF-X64MY
- ・サンディスク製 SanDisk 64MB

\* コンパクトフラッシュカード用 PC アダプターは、次のものが動作確認済みです。

- ・バッファロー製 RCF-A2
- ・ハギワラシスコム製 HPC-ADP01

## 各機種呼び名について

この説明書では、各機種を以下のように呼びます。

商品名	機種名	この仕様書での呼び名	備考
主装置	WD-M200	主装置	
CPUボード	WD-MU20	CPUボード	
電話機接続ボード	WD-MU22	電話機接続ボード	
多機能電話機	WD-MT20	多機能電話機	
放送入出力ユニット	WD-AF20	放送入出力ユニット	放送出力用として使用するときは放送入出力ユニット(放送)と呼びます。グループ通話参加用として使用するときは放送入出力ユニット(グループ通話参加)と呼びます。
セルステーション	WD-T150	セルステーション	
ポータブルトランシーバー	WD-TR100	子機	WD-TR200 と区別するときは、子機(TR100)と呼びます。
ポータブルトランシーバー	WD-TR200	子機	WD-TR100 と区別するときは、子機(TR200)と呼びます。
電話回線接続ボード	WD-ZU25J WD-ZU26J	電話回線接続ボード	幹旋品。 回線数で区別するときは、4 電話回線接続ボード、8 電話回線接続ボードと呼びます。

また、パソコンを「PC」と呼びます。

## システムデータ設定について

システムデータ設定は、多機能電話機をプログラムモードにして行います。システムデータ設定では、下記の項目の設定を行います。

- ・子機登録（子機は子機設定用 PC インタフェースアダプターを使用して PC と接続します）
- ・各種グループ通話設定
- ・ファンクションボタンの設定（必要に応じて設定）
- ・放送の設定（必要に応じて設定）
- ・外線の設定（必要に応じて設定）
- ・設定したシステムデータのセーブ、ロード

設定したシステム設定内容は、主装置に添付されている「システム設定データシート」に記入し、たいせつに保管してください。

### 子機登録用 PC について

子機登録をするときに使用する PC に子機設定ソフトウェアをインストールする必要があります。  
ご使用になる子機設定ソフトウェア添付のマニュアルをご覧ください。PC にインストールしてください。

## システムデータ設定中の注意事項

CPU ボードのフラッシュメモリにシステムデータを保存動作中に、電源が切断またはシステムがリセットされると、CPU ボードが故障する場合があります。CPU ボードの RUN ランプ(半田面に実装されている緑色の LED)が、下表の点滅パターン A のように早い点滅状態のときは、CPU ボードのフラッシュメモリにデータを書き込み中ですので、電源切断やシステムリセットを行わないでください。システムの構成、稼動状態にもよりますが、システムデータ保存動作は数分間かかる場合があります。電源切断やシステムリセットを行う前に、必ず CPU ボードの RUN ランプ表示を確認してください。

CPU ボードの RUN ランプの状態表示

点滅 パターン	状態	点滅状態
A	フラッシュメモリ書き込み中 (電源切断/システムリセット禁止)	100msON/100msOFF の 3 回点滅の繰り返し
B	通常状態 (電源切断/システムリセット可)	1 秒に 1 回(500msON/500msOFF)点滅の繰り返し

### ■CPU ボードのフラッシュメモリに書き込みを行う主な場合

- ・システムの初期立ち上げ時
- ・システムソフトをバージョンアップしたとき
- ・電源 OFF の状態で、新しいボードまたは端末を主装置に接続して電源 ON したとき
- ・システム稼動中に、新しいボードまたは端末を主装置に接続したとき
- ・システムデータ設定を行うプログラムモードから通常モード(時計表示)に戻るとき
- ・ユーザーが短縮ダイヤルなどのシステムデータを登録・変更したとき

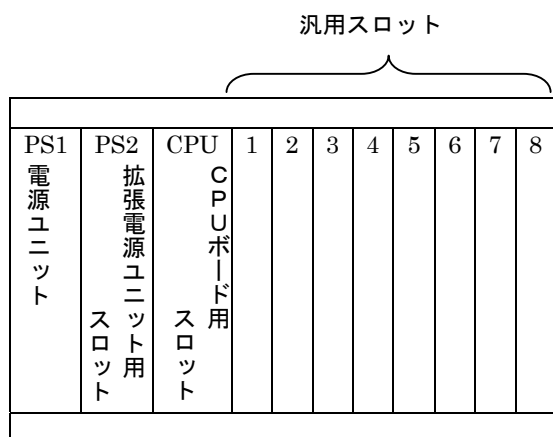
## ポート番号について

システムデータ設定の中には、ポート番号で設定するところもありますので、ポート番号をあらかじめ確認しておいてください。

ポート番号は、多機能電話機、子機、放送入出力ユニット、外線のポートが別々に付与されます。多機能電話機、放送入出力ユニット、電話回線接続ボードなどを主装置に実装した時点や、子機登録を実行した時点で自動的に決まります。

### ■主装置スロット番号の教えかた

汎用スロットの左から 1, 2・・7, 8 と数えます。



### ■ポート番号の教えかた

ポート番号には、大きく分けて物理ポートと論理ポートの 2 種類があります。

#### ・物理ポート

各ボードのコネクタに対応するポートで、以下のようになっています。

たとえば電話機接続ボードには、物理ポートは 16 割り当てられ、8 物理ポートは使用可能ですが、残り 8 物理ポートは使用不可となります。

#### ・論理ポート

同じ種類のポートを複数実装した場合に、通して数えたポート（チャンネル）の通し番号です。

たとえば、電話機接続ボードを 3 枚実装した場合は、1 枚目の電話機接続ボードの論理ポート番号が 1～8、2 枚目の電話機接続ボードが 9～16、3 枚目の電話機接続ボードが 17～24 となります。

ボード種類	物理 ポート数	外線 論理ポート数	内線 論理ポート数
電話機接続 ボード	16	—	8
4 回線電話回線 接続ボード	8	4	—
8 回線電話回線 接続ボード	8	8	—

#### ご注意

一度ボードが動作したスロットに別のボード（ボードのタイプが同じでもポート数が異なるボードも別のボードと考えます）を実装する場合は、プログラム番号【90-05-01】にてボード情報を削除後、新しいボードを実装する必要があります。



42 ページ

### ■ポート番号の自動割り付け

#### (1) 多機能電話機のポート番号

電話機接続ボードの論理ポート番号（内線）の若い方から、1 番～256 番に対して割り付けられます。

#### (2) 子機のポート番号

論理ポート番号（内線）の 257 番～512 番に対して割り付けられます。子機登録時に付与される「PS 番号」が、これに相当します。

#### (3) 放送入出力ユニット(放送)のポート番号

電話機接続ボードに接続した順に、電話機接続ボードの論理ポート番号（内線）の若い方から、チャンネル毎に 1 番～8 番に対して割り付けられます。プログラム番号【10-03-□□】で確認できます。

#### (4) 放送入出力ユニット(グループ通話参加)のポート番号

電話機接続ボードに接続した順に、電話機接続ボードの論理ポート番号（内線）の若い方から、チャンネル毎に 1 番～96 番に対して割り付けられます。プログラム番号【10-03-□□】で確認できます。

#### (5) 外線のポート番号

電話回線接続ボードの論理ポート番号（外線）の若い方から 1、2、3、・・・と割り付けられます。

## ■システム設定の手順

システム設定の標準的な手順を示します。

次の1～5のステップを参考に進めてください。なお、右端の★は、最低限必要なシステムデータ設定項目です。


システム設定開始

<b>ステップ1</b>	主装置の電源を入れる	9 ページ
--------------	------------	-------

<b>ステップ2</b>	プログラムモードでシステムデータ設定を行う	11 ページ 12 ページ
--------------	-----------------------	------------------

<b>ステップ2-1</b>	日付と時刻の設定	14 ページ
----------------	----------	--------

<b>ステップ2-2</b>	子機登録	15 ページ
----------------	------	--------

 103 ページ

<b>ステップ2-3</b>	インカムのグループ数設定	17 ページ
----------------	--------------	--------

<b>ステップ2-4</b>	子機、多機能電話機のインカム通話グループメンバー登録	18 ページ
----------------	----------------------------	--------

<b>ステップ2-5</b>	放送入出力ユニットのインカム通話グループメンバー登録	21 ページ
----------------	----------------------------	--------

\* 放送入出力ユニット経由でインカムに音を入力したり、インカムの音を出力したりするとき行います。

<b>ステップ2-6</b>	子機の各種設定（必要に応じて行います） ■音量レベルの設定 ■圏外お知らせ音の設定	106 ページ
----------------	---	---------

<b>ステップ2-7</b>	その他の設定（必要に応じて行います） ■子機の機能ボタン、多機能電話機のファンクション ボタンの設定 ■放送グループの設定 ■外線の設定	24 ページ 26 ページ 27 ページ
----------------	--	----------------------------

<b>ステップ3</b>	動作の確認	36 ページ
--------------	-------	--------

<b>ステップ4</b>	システムデータのセーブ	37 ページ
--------------	-------------	--------

<b>ステップ5</b>	システム設定データシートへの記入	
--------------	------------------	--

\* システムデータを「システム設定データシート」に記入します。記入した「システム設定データシート」は設定記録として、たいせつに保管してください。「システム設定データシート」は、主装置に添付されています。

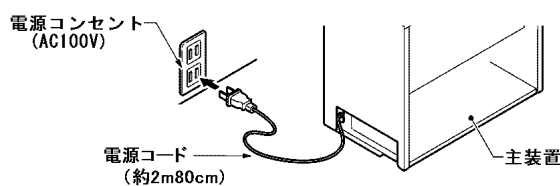
システム設定終了



## 主装置の電源の入れかた・切りかた

### ■電源の投入のしかた

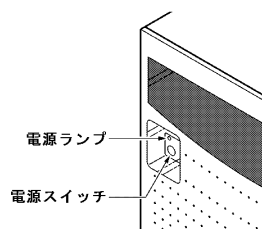
主装置の電源ケーブルを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



ご注意

電源コンセントに電源コードを差し込むと、電源ユニット内にAC100Vが給電されます。感電する危険性がありますので、絶対に電源コンセントに電源コードを差し込んだまま、電源ユニットを主装置から抜かないでください。

- 2 主装置に実装されている電源ユニットの、電源スイッチをロックするまで押します。  
主装置本体にフロントパネルが取り付けられている場合は、下図の電源スイッチを押します。



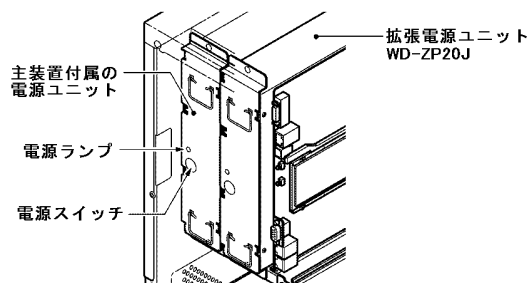
ご注意

電源スイッチをもう1回押すと、電源ユニットの電源ランプが点滅し、シャットダウン動作が開始され、電源がOFFとなります。

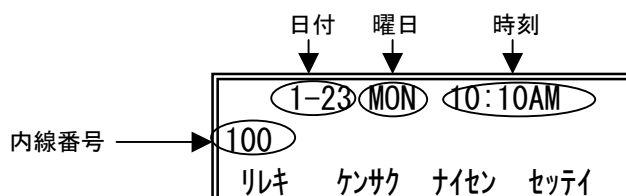
ご注意

#### 拡張電源ユニットを実装している場合

拡張電源ユニット WD-ZP20J（向かって右側）の電源スイッチをロックするまで押してから、主装置付属の電源ユニット（向かって左側）の電源スイッチをロックするまで押します。  
主装置付属の電源ユニットをOFFにすると、拡張電源ユニット WD-ZP20J も自動でOFFになります。



- 3 電源ランプが点灯し、システムが起動します。
- 4 約2分後に多機能電話機 WD-MT20 のLCD表示が下図のようになり内線電話モードになります。  
ただし、日付、曜日、時刻、内線番号の表示は、システムデータ設定状況により異なります。



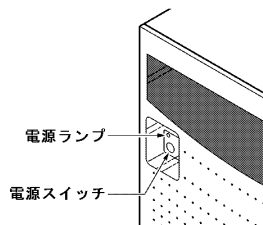
以上で、電源の投入は完了です。

## ■ 電源の切断のしかた



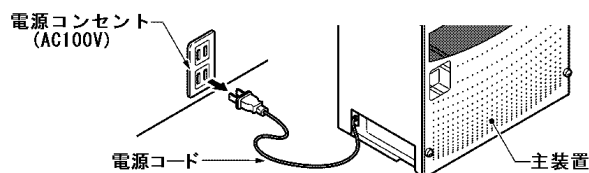
電源ユニットは高温となっていますので触れないでください。やけどの原因となります。

- 1 主装置に実装されている電源ユニットの、電源スイッチを押します。  
主装置本体にフロントパネルが取り付けられている場合は、下図の電源スイッチを押します。



**拡張電源ユニット WD-ZP20J を実装している場合**  
主装置付属の電源ユニットを OFF にすると、  
拡張電源ユニット WD-ZP20J も自動で OFF になります。

- 2 電源ランプが点滅し、システムのシャットダウンが開始され、電源が OFF になります（電源ランプが消灯します）。
- 3 電源コンセントから主装置の電源ケーブルを抜きます。



以上で、電源の切断は完了です。

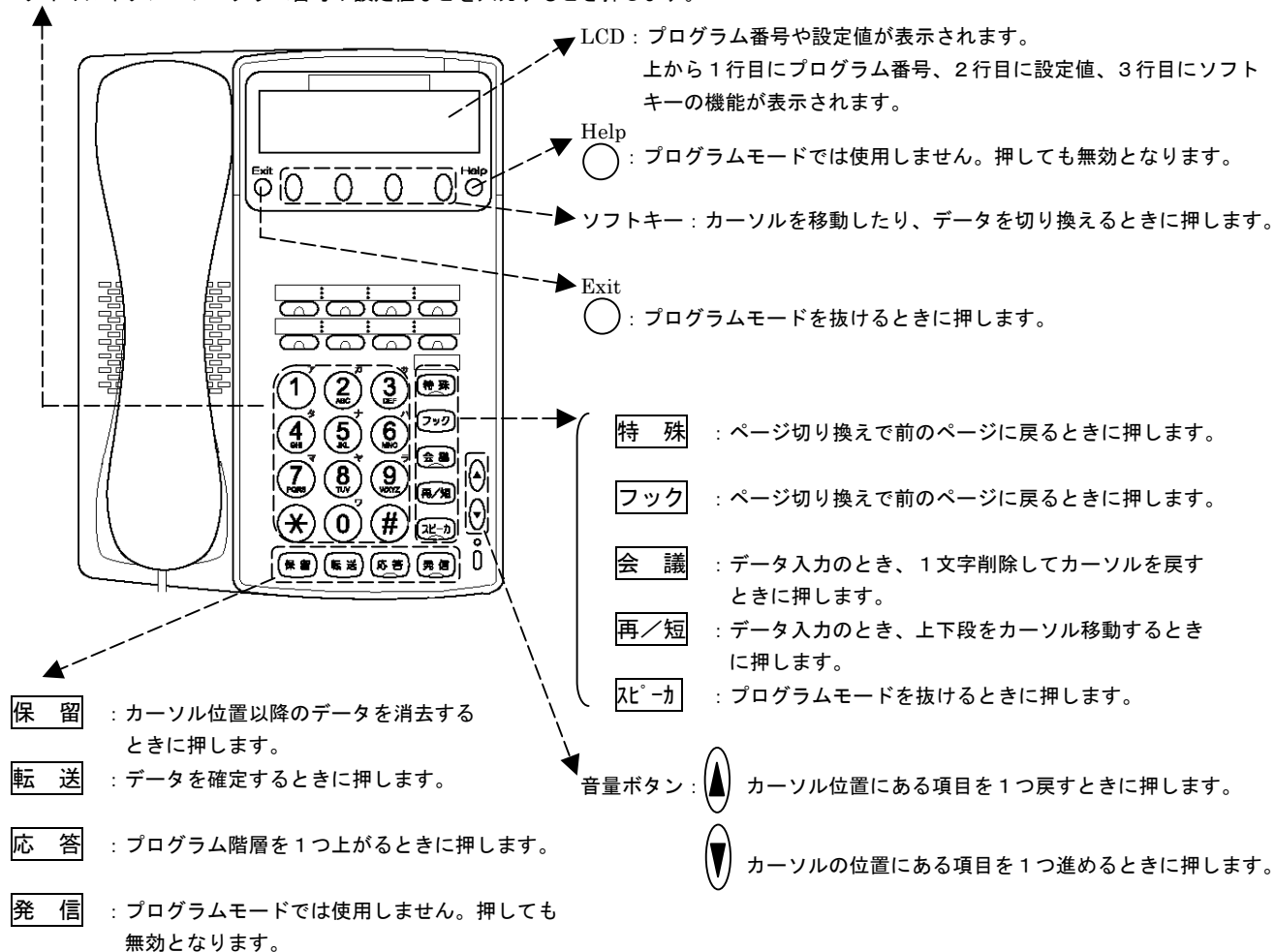


バックアップバッテリーWD-NB20 を実装した状態で電源を投入したあと、電源スイッチで電源を切らずに電源コードを抜くと、バックアップバッテリーWD-NB20 でのバックアップ電源動作となりますので、必ず上記の手順で電源を切断してください。

## 多機能電話機の使いかた

プログラムモードでの多機能電話機は、内線電話モードやインカムモードとは使いかたが異なります。

ダイヤルボタン：プログラム番号や設定値などを入力するとき押します。



## プログラムモードの使いかた

プログラムモードは、内線電話モードから入ります。インカムモードからは入れませんので、内線電話モードに戻ってから行ってください。

### ■内線電話モードからプログラムモードへの入りかた

1-23 MON 10:10AM
100
リレキ ケンサク ナイセン セツテイ

(内線電話モード)

- 1 スピーカ ボタンを押します。

1-23 MON 10:10AM
100
ホウソウ グループ オウトウ

- 2 # \* # \* を押します。

1-23 MON 10:10AM
#*#*

パスワードー
--------

(パスワード入力待ち状態)

- 3 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ を押します。

パスワードー@@@@@@@@
----------------

- 4 転送 ボタンを押します。

プログラムモード
キホシ サービス オフ 1 オフ 2

(プログラムモード初期画面)

### ■プログラムモードから内線電話モードへの戻りかた

スピーカ ボタンまたは Exit ○ を押すと、内線電話モードに戻ります。

## ■ プログラム番号の入力のしかた

プログラム番号は、次のように構成されています。

プログラム番号 【◇◇ー△△ー□□】  
                                 └─┬─┬─┐  
                                 大項目 中項目 小項目

プログラム番号を入力するときは、次の手順で行います。

(例)プログラム番号【10-01-01】を入力するとき

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

(プログラムモード初期画面)

- 1 ① ① ① ① ① ① を押します。

10-01-01	2
ネ	
←	→

- ・プログラム番号【10-01-01】のシステムデータ設定が行えます。



ここで[応答]ボタンを4回押すと、プログラムモード初期画面になります。

- 2 手順1でシステムデータの変更をしないで、[応答]ボタンを押すと、小項目の上位けたが点滅し別の小項目の入力が行えます。

10-01-01	2
ネ	
モデル ↑ ↓ センタク	

- 3 手順2で別の小項目を入力しないで、[応答]ボタンを押すと、中項目の上位けたが点滅し別の中項目の入力が行えます。

10-01-	システムコウセイ
トケイカレンダー	11
モデル ↑ ↓ センタク	

- ・中項目を入力すると、小項目の上位けたが点滅しさらに小項目の入力が行えます。

- 4 手順3で別の中項目を入力しないで、[応答]ボタンを2回押すと、大項目の上位けたが点滅し別の大項目の入力が行えます。

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

## ■ システムデータの入力・確定のしかた

システムデータを入力し確定するときは、次の手順で行います。

(例)プログラム番号【10-01-01】のシステムデータとして「6」を入力し確定するとき

10-01-01	2
ネ	
←	→

- 1 ⑥ を押します。

10-01-01	6
ネ	
←	→

- 2 [転送]ボタンを押すことで確定します。

10-01-02	6
ツキ	
←	→

- ・プログラム番号は次の【10-01-02】に切り換わります。

## 日付と時刻の設定

次の2つの設定を行います。

- (1) 多機能電話機のLCDに表示する日付と時刻の設定
- (2) 運用開始日の設定

### ■多機能電話機のLCDに表示する日付と時刻の設定

プログラムモード  
キホン サービス オフ 1 オフ 2

- 1 ① ① ① ① ① ① を押します。

10-01-01  
ネン 2  
← →

- 2 西暦の下2桁(00~99)を入力し、**転送**ボタンを押します。

ツキ 1

- 3 月(01~12)を入力し、**転送**ボタンを押します。

ヒ 1

- 4 日(01~31)を入力し、**転送**ボタンを押します。

ヨウビ 1:ニチ

- 5 曜日(1~7、1が日曜日)を入力し、**転送**ボタンを押します。

ジ 0

- 6 時(00~23)を入力し、**転送**ボタンを押します。

フン 0

- 7 分(00~59)を入力し、**転送**ボタンを押します。

ヒョウ 0

- 8 秒(00~59)を入力し、**転送**ボタンを押した後、**応答**ボタンを2回押します。

プログラムモード  
キホン サービス オフ 1 オフ 2

### ■運用開始日の設定

プログラムモード  
キホン サービス オフ 1 オフ 2

- 1 ⑨ ① ① ① ① ① を押します。

90-01-01  
ウソウカイシビ ネン 0  
← →

- 2 西暦の下2桁(00~99)を入力し、**転送**ボタンを押します。

ウソウカイシビ ツキ 0

- 3 月(01~12)を入力し、**転送**ボタンを押します。

ウソウカイシビ ヒ 0

- 4 日(01~31)を入力し、**転送**ボタンを押した後、**応答**ボタンを2回押します。

プログラムモード  
キホン サービス オフ 1 オフ 2

## 子機登録

つぎの手順で子機登録を行ないます。子機登録が完了しても「インカムのグループ数設定」および「インカムの通話グループのメンバー登録」を行わないと使用できません。

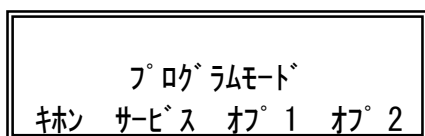
### ご注意

- マスターセルステーションが通話で使用中の場合は子機登録が行えません。他の全ての子機の電源を切っておいてください。
- システムソフト V1-00 では、次の制約がありますのでご注意ください。なお、システムソフト V1-01 以降ではこの制約はありません。システムソフトのバージョンはプログラム番号【90-16-01】で確認できます。  
 <V1-00 での制約>  
 子機登録時に示される PS 番号に対し子機登録が完了すると、その PS 番号に割り付けられている内線番号の機能ボタン（ファンクションボタン）の設定は、消去されます。

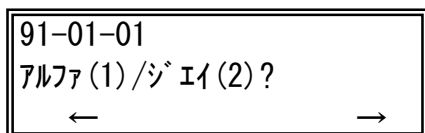


ここでは、子機設定ソフトウェアとして「WD-TR200/WD-TR100 用子機設定ソフトウェア」を例として説明しますが、「WD-TR100 設定プログラム」でも同様に WD-TR200/WD-TR100 の子機登録を行なうことができます。

## ■子機登録手順



1 ⑨ ① ① ① ① ① を押します。

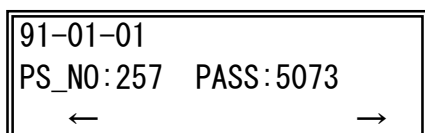


・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

2 子機と PC を接続し子機の電源を入れて、PC で子機設定ソフトウェアを起動し、メニュー画面の「子機設定登録モード」をクリックします。

・手順 8 から繰り返して新たな子機登録を行なう場合は上記操作は不要です。

3 子機の準備ができたなら、① を押した後、**転送**ボタンを押します。



・「PS\_NO エラー」と表示された場合は、マスターセルステーションが通話で使用中の場合です。この場合は、他の全ての子機の電源を切ってから、やり直してください。

4 多機能電話機の LCD に表示された PS 番号、暗証番号を子機設定ソフトウェアに入力し、「設定書き込み」をクリックします。



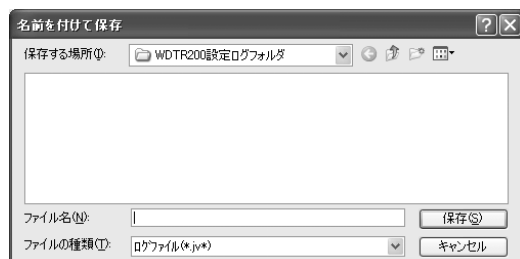
- 5 子機設定ソフトウェアの「子機登録」をクリックします。
- ・PC 画面に状態「子機登録実行中」と表示されます。



- 6 数十秒から数分後に、PC 画面に状態「子機登録制御完了」と表示されます。
- ・それ以外の表示の場合は、子機登録失敗です。子機設定ソフトウェアの「子機交換」をクリックした後、「交換完了」をクリックしてもう一度子機登録をやり直してください。

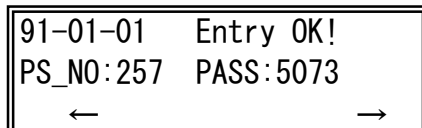
「子機登録制御完了」の場合は、PC 画面に「ファイル名を付けて保存」画面が表示されます。

- ・登録した子機の子機情報を PC に保存する場合は、ファイル名を入力し「保存」をクリックします。
- ・保存しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

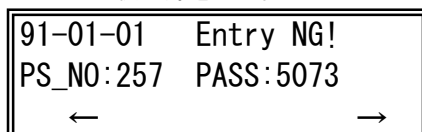


また、多機能電話機の LCD には、次のように表示されます。

- ・子機登録が正常に終了したとき



- ・子機登録に失敗したとき  
(子機登録をやり直してください)



子機登録に失敗した場合は、多機能電話機の「転送」ボタンを押すと手順 1 の表示に戻ります。また、PC 画面の状態が「子機登録実行中」のままの場合は、「子機登録中断」を押してください。

- 7 子機設定ソフトウェアの「子機交換」をクリックし、子機の電源を切り、子機から PC 接続ケーブルを取りはずします。



- 8 転送ボタンを押します。
- ・手順 1 の表示に戻ります。

続けて別の子機を子機登録する場合は、PC に接続されている子機を交換し、新たに接続した子機の電源を入れて、子機設定ソフトウェアの「交換完了」をクリックして、手順 1 から行います。





## インカムのグループ数設定

インカムの通話で使用するハードウェア資源をチャンネルと呼びます。このチャンネルは WD-2000 シリーズでは最大 62 チャンネルあり、通話グループ、個別グループに割り当てられます。

インカムのグループ数設定として、次の 2 つの設定を行います。

- (1) 通話グループ定員数の設定
- (2) 個別グループの設定 (個別グループを使用する場合のみ設定します)



- すべてのグループの通話グループ定員数の初期設定は「0」になっていますので、通話グループ定員数の設定は必ず行ってください。
- すべての端末が通話グループから抜けてから行なってください。
  - ・多機能電話機：電話モードにする (プログラムモードにしても、通話グループから抜けたままとなります)
  - ・子機：電源を切る
  - ・放送入出力ユニット (グループ通話参加)：主装置から外す

### ■通話グループ定員数の設定

プログラムモード					
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2

- 1 (4) (8) (0) (2) (0) (1) を押します。

48-02-01		ツウワグループ 1	
グループ定員		0	
←			→

- 2 通話グループ 1 の定員数 (4 ~ 62) を入力し、**転送** ボタンを押します。

48-02-01		ツウワグループ 2	
グループ定員		0	
←			→

- ・変更しない場合は、**転送** ボタンを押します。
- ・以下同様に、通話グループ 8 まで設定します。
- ・終了する場合は、**応答** ボタンを 4 回押します。



- 各通話グループには、リザーブチャンネルが 1 つ必要です。定員数は、その通話グループに参加できる端末数に 1 (リザーブチャンネル) を加えた数を設定します。  
(例) 定員数として「7」を設定した場合
  - ・インカムに参加できる端末：6
  - ・リザーブチャンネル：1
- リザーブチャンネルとは、たとえば一斉連絡を起動した端末が一斉連絡中に一時的に使用するチャンネルです。
- 端末でグループ切り換えを行う場合は、その数も考慮して設定する必要があります。



通話グループ 1 ~ 8 まで定員数の合計が 62 以上になる入力是不可能です。

### ■個別グループの設定

プログラムモード					
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2

- 1 (4) (8) (0) (1) (0) (1) を押します。

48-01-01			
インカムコベツグループ		0: シナイ	
←	-1	+1	→

- 2 個別グループを使用するか、しないかを設定します。
- ・個別グループを使用するときは、(1) を押した後、**転送** ボタンを押します。
  - ・個別グループを使用しないときは、(0) を押した後、**転送** ボタンを押します。
  - ・変更しない場合は、**転送** ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答** ボタンを 4 回押します。



- インカムの個別通話で個別グループを使用するか、使用しないかを設定します。
- 個別グループを使用すると、個別通話中でも一斉連絡が聞くことができます。個別グループを使用しないと、個別通話中に一斉連絡を聞くことはできません。
- 1 つの個別グループは、3 チャンネル使用します。
- 62 チャンネルから通話グループ 1 ~ 8 までの定員数合計を引いた残りのチャンネルで、個別グループは作成され、個別通話に使用されます。ただし、作成される個別グループは最大 15 です。  
(例 1) 通話グループ 1 (定員数 7) と通話グループ 2 (定員数 8) の 2 グループ構成時  
→ 個別通話は最大 15 通話可能  
(例 2) 通話グループ 1 (定員数 23) と通話グループ 2 (定員数 17) の 2 グループ構成時  
→ 個別通話は最大 7 通話可能

## 子機、多機能電話機のインカム通話グループメンバー登録

子機、多機能電話機をインカムの通話グループメンバーとして使用できるように登録を行ないます。

次の順序で設定を行います。

- (1) 登録する端末の内線番号を調べる
- (2) 通話グループのメンバー登録

### ■登録する端末の内線番号を調べる

プログラムモード	
キホン サービス オフ 1 オフ 2	

- 1 ① ① ① ② ① を押します。

11-02-01	ラインポート 1
ラインバンク	100
←	→

- 2 再/短ボタンでカーソルを「内線ポート番号」に移動させて、登録する端末の内線ポート番号を入力します。

・例. 内線ポート番号 257 の場合

② ⑤ ⑦ と押します。

11-02-01	ラインポート 257
ラインバンク	200
←	→

・終了する場合は、応答ボタンを 4 回押します。



内線ポート番号の詳しい説明  
7 ページ

- 3 表示された内線番号を「システム設定データシート」に記入するなどメモしておき、『通話グループのメンバー登録』を行ないます。

### ■通話グループのメンバー登録

プログラムモード	
キホン サービス オフ 1 オフ 2	

- 1 ④ ⑧ ③ ① を押します。

48-03-01	インカムメンバ 1
ラインバンク	
←	→

- 2 『登録する端末の内線番号を調べる』でメモした内線番号を入力し、転送ボタンを押します。

・例. 内線番号 200 の場合

② ① ① と押した後、転送ボタンを押します。

・変更しない場合は、転送ボタンを押します。

・登録を消去する場合は、保留ボタンを押した後、転送ボタンを押します。

48-03-02	インカムメンバ 1
ツウグループ	0
←	→

・終了する場合は、応答ボタンを 4 回押します。



内線番号があらかじめ表示される場合は、表示されている内線番号がメンバーとしてすでに登録されています。別のメンバーとして登録したい場合は、音量ボタンを押して空いているメンバーを探してから内線番号を設定してください。

・▼: メンバー番号を進めます。

・▲: メンバー番号を戻します。

・内線番号が設定されていない（空欄）メンバーが空いているメンバーとなります。

- 3 登録する通話グループ番号を入力し、転送ボタンを押します。

・通話グループ番号: 1 ~ 8

0 = グループ通話しない

・例. 通話グループ番号 1 の場合

① と押した後、転送ボタンを押します。

・変更しない場合は、転送ボタンを押します。

・登録を消去する場合は、保留ボタンを押した後、転送ボタンを押します。

48-03-03	インカムメンバ 1
ACI ペア	1:スル
← -1	+1 →

## 4 転送ボタンを押します。

- ・ACIペア設定は、子機、多機能電話機の場合は変更不要です。

48-03-04	インカムメンバ 1
コヘ ツヨビダシサキ 1	
←	→

## 5 インカム端末の個別ボタン1を押したときに呼び出す内線番号を入力し、転送ボタンを押します。

- ・例. 内線番号201の場合

(2)(0)(1) と押した後、転送ボタンを押します。

- ・変更しない場合は、転送ボタンを押します。
- ・登録を消去する場合は、保留ボタンを押した後、転送ボタンを押します。

48-03-05	インカムメンバ 1
コヘ ツヨビダシサキ 2	
←	→

## 6 インカム端末の個別ボタン2を押したときに呼び出す内線番号を入力し、転送ボタンを押します。

- ・例. 内線番号202の場合

(2)(0)(2) と押した後、転送ボタンを押します。

- ・変更しない場合は、転送ボタンを押します。
- ・登録を消去する場合は、保留ボタンを押した後、転送ボタンを押します。

48-03-06	インカムメンバ 1
インカムウンヨウ	0: ツウジョウ
← -1	+1 →

## 7 運用設定を入力し、転送ボタンを押します。

- ・インカム運用設定するときは、(1) を押した後、転送ボタンを押します。
- ・内線電話運用設定するときは、(0) を押した後、転送ボタンを押します。

48-03-07	インカムメンバ 1
ホールナイホウソウシュツリョクサキ 1	0
←	→



「インカム運用=0: ツウジョウ」設定は、多機能電話機の場合に有効です。

## 8 インカム端末の放送ボタン1を押したときの放送出力先の放送グループ番号を入力し、転送ボタンを押します。

26 ページ

- ・放送グループ番号: 1~8

0 = 全グループ

- ・例. 放送グループ番号1の場合

(1) と押した後、転送ボタンを押します。

- ・変更しない場合は、転送ボタンを押します。
- ・登録を消去する場合は、保留ボタンを押した後、転送ボタンを押します。

48-03-08	インカムメンバ 1
ホールナイホウソウシュツリョクサキ 2	0
←	→

## 9 インカム端末の放送ボタン2を押したときの放送出力先の放送グループ番号を入力し、転送ボタンを押します。

26 ページ

- ・放送グループ番号: 1~8

0 = 全グループ

- ・例. 放送グループ番号2の場合

(2) と押した後、転送ボタンを押します。

- ・変更しない場合は、転送ボタンを押します。
- ・登録を消去する場合は、保留ボタンを押した後、転送ボタンを押します。

48-03-09	インカムメンバ 1
ホールナイホウソウジ ユウ 0:ムオン	
← -1	+1 →

## 10 放送中の受話選択設定を入力し、転送ボタンを押します。

- ・無音設定するときは、(0) を押した後、転送ボタンを押します。
- ・自グループの音声設定するときは、(1) を押した後、転送ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、転送ボタンを押します。

48-03-10	インカムメンバ 1
グループ キリカエサキ 1	0
←	→

- 11 インカム端末のグループ切換ボタン1を押したときの切り換え先通話グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

・通話グループ番号：1～8

0＝切り換えしない

・例. 通話グループ番号2の場合

②と押した後、**転送**ボタンを押します。

・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。

48-03-11	インカムメンバ` 1
グループ`キリカエサキ 2	0
←	→

- 12 インカム端末のグループ切換ボタン2を押したときの切り換え先通話グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

・通話グループ番号：1～8

0＝切り換えしない

・例. 通話グループ番号3の場合

③と押した後、**転送**ボタンを押します。

・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。

48-03-01	インカムメンバ` 2
ナイセンバンゴウ	
←	→

- 13 以降、同様に次のメンバーを登録します。

・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

プログラムモード	
キホン サービス オフ` 1	オフ` 2



インカム通話グループのメンバー登録で多機能電話機を登録した場合は、多機能電話機に添付の機能ボタン名ラベルを該当する機能ボタンのボタン名ラベル添付場所に貼り付けてください。

## 放送入出力ユニットのインカム通話グループメンバー登録

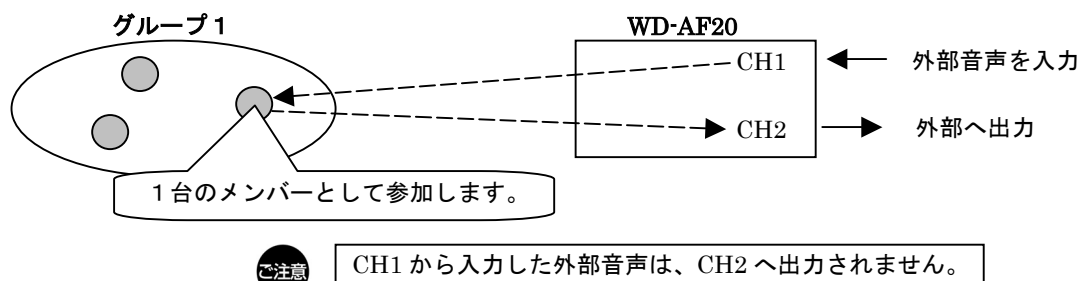
放送入出力ユニットをインカムの通話グループメンバーとして使用できるように登録を行います。

放送入出力ユニットをインカム通話グループのメンバーに登録することで、次のように使用することができます。なお、図中の●は、通話グループのメンバーを表します。

### ●「ペア使用する」と登録した場合

同じ放送入出力ユニットの CH1 と CH2 を「ペア」として使用し、インカム通話グループのうち 1 つのグループに登録します。その放送入出力ユニットの CH1 は入力、CH2 は出力になります。登録したグループに外部音声を入力したり、登録したグループの音声を外部出力したりすることができます。

(例)



### ●「ペア使用しない」と登録した場合

放送入出力ユニットの各ポートをそれぞれインカム通話グループに登録することで、次のように使用できます。

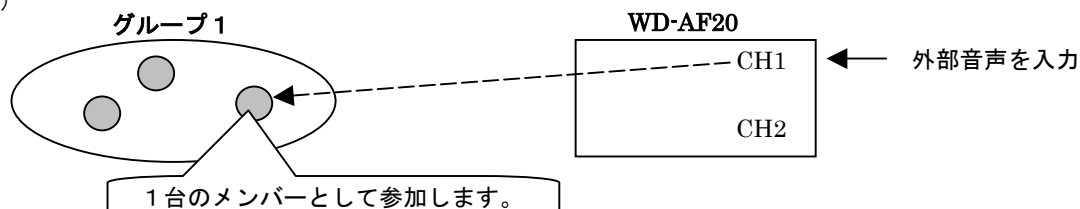


- 同じ放送入出力ユニットの CH1 と CH2 で異なるタイプ（例えば、CH1 は音声入力(単一グループ)、CH2 は音声出力など）を組み合わせ使用することもできます。
- 同じ放送入出力ユニットの CH1 と CH2 は、「インカム通話グループ参加モード」と「放送モード」を組み合わせ使用することもできます。「放送」については、『放送グループの設定』をご覧ください。  
( 26 ページ )

#### ①インカム通話グループのうち 1 つのグループに音声を入力する

メンバー登録のほかに「入出力タイプ設定」も行います。

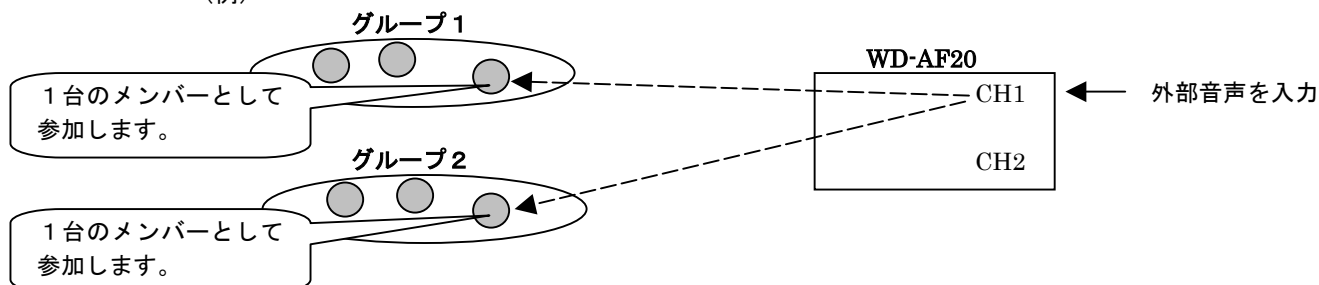
(例)



#### ②インカム通話グループのうち複数のグループに音声を入力する

メンバー登録のほかに「入出力タイプ設定」、「複数グループ接続設定」も行います。

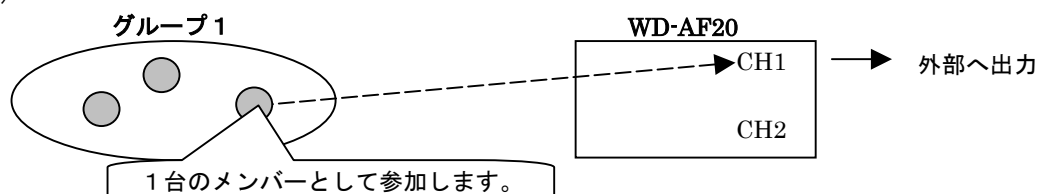
(例)



#### ③インカム通話グループのうち 1 つのグループの音声を出力する

メンバー登録のほかに「入出力タイプ設定」も行います。

(例)



放送入出力ユニットのインカム通話グループメンバー登録は、放送入出力ユニット（グループ通話参加）を主装置に接続して、次の順序で設定を行います。

- (1) 放送入出力ユニットの内線番号の設定
- (2) 通話グループのメンバー設定
- (3) 入出力タイプ設定（同じ放送入出力ユニットの2つのポートを「ペア使用しない」ときに設定します）
- (4) 複数グループ接続設定（放送入出力ユニットの1つのポートを「複数グループに接続する」ときに設定します）

●注意

- この設定を行うためには、主装置と放送入出力ユニットを接続しておく必要があります。
- 放送入出力ユニットをインカム通話グループメンバーとして使用するためには、この設定のほかに放送入出力ユニット内部のスイッチを「インカム通話グループ参加モード」に設定されている必要があります。詳しくは、設置説明書（工事説明書）をご覧ください。

## ■放送入出力ユニットの内線番号の設定

プログラムモード  
キホン サービス オフ 1 オフ 2

- 1 ① ① ① ① ① ① を押します。

11-06-01 ACIポート1  
ACI ナイセンバンゴウ  
← →

- 2 音量ボタンで設定指定ポートバンゴウを選択して、内線番号（推奨番号：300～799の間の番号）を入力し、**転送**ボタンを押します。

・例. 内線番号300の場合

③ ① ① と押した後、**転送**ボタンを押します。

・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。

・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。

11-06-01 ACIポート2  
ACI ナイセンバンゴウ  
← →

・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

●注意

設定する内線番号の推奨番号は、300～799の間の番号です。これ以外の番号を設定したい場合は、内線番号の変更（プログラム番号【11-02-01】）または番号計画の変更（プログラム番号【11-01-01】）を行なう必要があります。

メモ

放送入出力ユニット(グループ通話参加)の各CHの論理ポート番号はプログラム番号【10-03-□□】で調べることができます。  
👉 42ページ、113ページ

\* 続いて『通話グループのメンバー登録』を行います。

## ■通話グループのメンバー設定

プログラムモード  
キホン サービス オフ 1 オフ 2

- 1 ④ ⑧ ① ③ ① ① を押します。

48-03-01 インカムメンバ 1  
ナイセンバンゴウ  
← →

- 2 『放送入出力ユニットの内線番号設定』で設定した内線番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

・例. 内線番号300の場合

③ ① ① と押した後、**転送**ボタンを押します。

・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。

・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。

48-03-02 インカムメンバ 1  
ツウワグループ 0  
← →

・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

メモ

内線番号があらかじめ表示される場合は、表示されている内線番号がメンバーとしてすでに登録されています。別のメンバーとして登録したい場合は、音量ボタンを押して空いているメンバーを探してから内線番号を設定してください。

・▼: メンバー番号を進めます。

・▲: メンバー番号を戻します。

・内線番号が設定されていない（空欄）メンバーが空いているメンバーとなります。

### 3 登録する通話グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・通話グループ番号：1～8  
0＝グループ通話しない  
9＝複数グループに接続
- ・例：通話グループ番号1の場合  
①と押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。

48-03-03	インカムメンバ 1
ACI ペア	1:スル
← -1	+1 →

### 4 ポートのペア使用設定を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・ペア使用するときには、①を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・ペア使用しないときは、①を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。



- 同じ放送入出力ユニットの2つのポートのペア使用を設定します。
- 同じ放送入出力ユニットのどちらかのポートで「ペア使用する」と設定したときは、もう片方のポートも「ペア使用する」設定となります。このとき、もう片方のポートについては、内線番号の設定は必要ですが、メンバー登録は不要です。また、その放送入出力ユニットのCH1は入力、CH2は出力になります。

48-03-04	インカムメンバ 1
コベツヨビダシサキ 1	
←	→

- ・このメンバーは、これ以降の設定は不要です。

### 5 **転送**ボタンを8回押して、次のメンバー入力画面にします。

48-03-01	インカムメンバ 2
ナイセンバンゴウ	
←	→

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

＊手順4で「ペア使用しない」と設定した場合は、次の『入出力タイプ設定』を行います。さらに、手順3で「複数グループに接続」と設定した場合は、『複数グループ接続設定』も行います。それ以外の場合は、放送入出力ユニットの別のポートについて、『放送入出力ユニットの内線番号の設定』（ 22ページ）から同様に設定を行います。

## ■入出力タイプ設定

プログラムモード	
キホン	サービス オフ 1 オフ 2

- 1 ③ ③ ① ① ① を押します。

33-01-01	ACI ポート 1
ACI タイプ	1:ニューリョク
← -1	+1 →

### 2 音量ボタンで設定したいポート番号を選択して入出力タイプを入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・入力にするには、①を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・出力にするには、②を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

＊『通話グループのメンバー設定』の手順3で「複数グループに接続」と設定した場合は、次の『複数グループ接続設定』も行います。

## ■複数グループ接続設定

プログラムモード	
キホン	サービス オフ 1 オフ 2

- 1 ③ ③ ① ③ ① ① を押します。

33-01-03	ACI ポート 1
セツゾクサキグループ 1	0:シナイ
← -1	+1 →

### 2 各通話グループに対し接続設定を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・接続する通話グループは、①を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・接続しない通話グループは、①を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・以下同様に、通話グループ8まで設定します。

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

＊放送入出力ユニットの別のポートについて、『放送入出力ユニットの内線番号の設定』（ 22ページ）から同様に設定を行います。

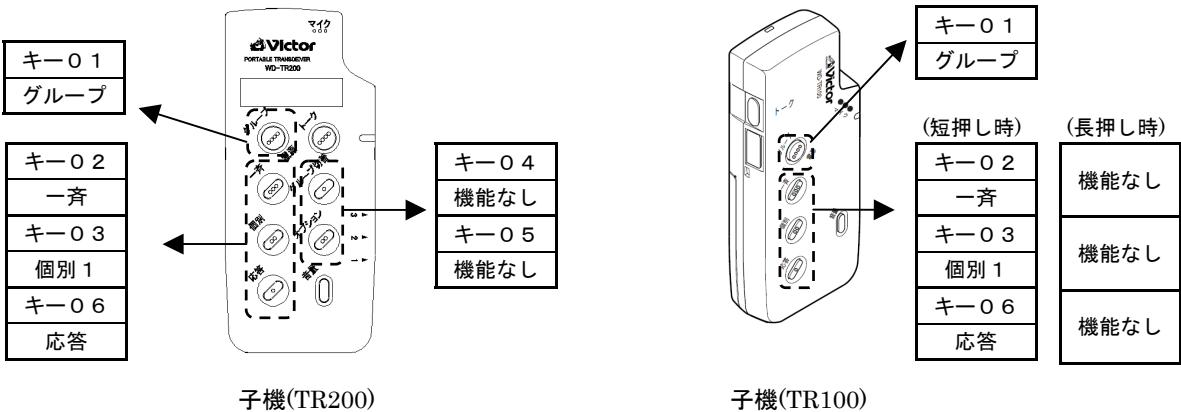
その他の設定

- 必要に応じて以下の設定を行います。
- ・子機の機能ボタン、多機能電話機のファンクションボタンの設定
  - ・放送グループの設定
  - ・外線の設定

それ以外の設定については、プログラム詳細を参照し設定してください。 42ページ

■子機の機能ボタン、多機能電話機のファンクションボタンの設定

インカム通話グループメンバー登録した子機の機能ボタン、多機能電話機のファンクションボタンの初期設定は、下図のようになっています。  
表の上段はプログラム番号【15-07-01】でのキー名称、下段は機能名称です。

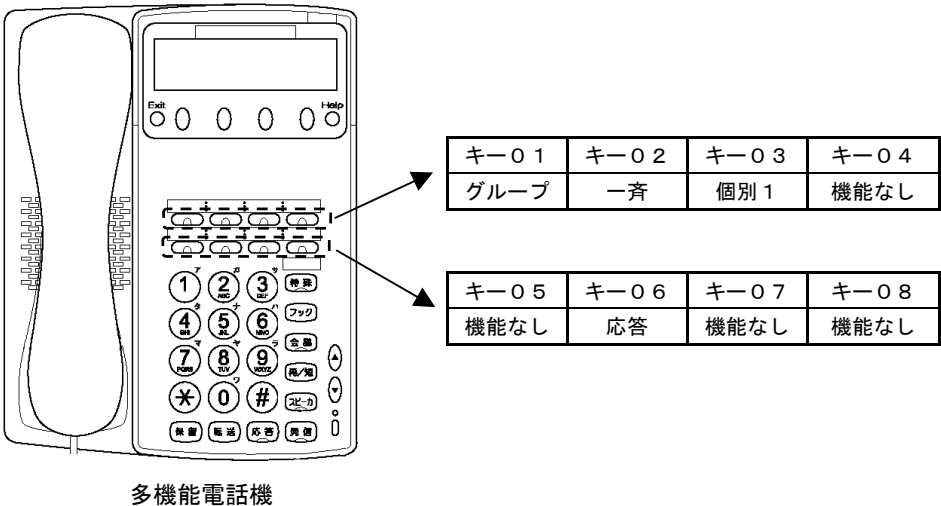


- WD-2000 システムで子機(TR200)、子機(TR100)を使用する場合の各ボタンの機能設定は、プログラム番号【15-07-01】を使用するこの手順で必ず行なってください。子機に PC を接続した子機設定ソフトウェアで設定変更を行なうと、正しく設定されない場合があります。
- プログラム番号【15-07-01】で子機(TR200)、子機(TR100)のキー 0 1 の機能設定を変更すると、インカムに参加できなくなりますので、絶対に変更しないでください。



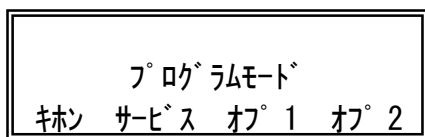
子機(TR100)でボタン長押し使用する場合  
は、さらに子機設定ソフトウェアで長押し有  
効にする必要があります。

104ページ、105ページ

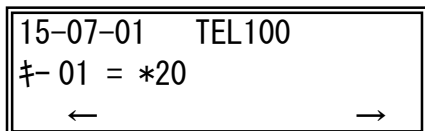




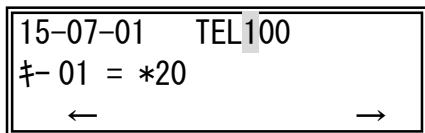
各ボタンの機能設定は、次の手順で変更することができます。



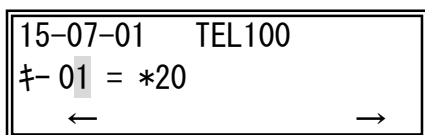
- 1 ① ⑤ ⑦ ① を押します。



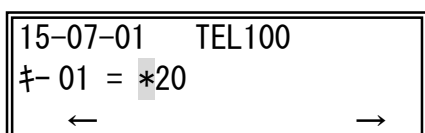
- 2 再/短ボタンでカーソルを「内線番号選択」に移動させて、ソフトキー「←」で設定したい内線番号を選択します。



- 3 再/短ボタンでカーソルを「ボタン選択」に移動させて、ソフトキー「←」で設定したいファンクションボタンを選択します。

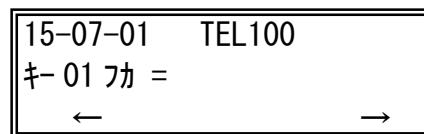


- 4 再/短ボタンでカーソルを「設定項目」に移動させて、機能番号を入力し、転送ボタンを押します。



- ・例. グループ切換 1 に変更する場合  
① \* ② ⑥ を押した後、転送ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、転送ボタンを押します。
- ・終了する場合は、応答ボタンを 4 回押します。

- 5 付加データを入力し、転送ボタンを押します。

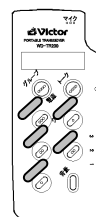


- ・例. 付加データに変更する場合  
① を押した後、転送ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、転送ボタンを押します。
- ・終了する場合は、応答ボタンを 4 回押します。

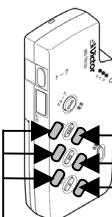


- 機能番号および付加データについては、プログラム番号【15-07-01】をご覧ください。  
42 ページ

- 機能設定を変更したボタンについて、ボタン名ラベル添付場所（下図の 部分）に、子機または多機能電話機に添付の機能ボタン名ラベルを貼り付けてください。

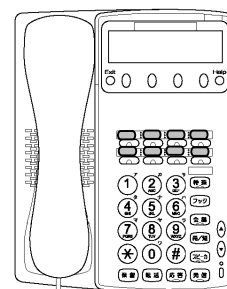


子機(TR200)



子機(TR100)

短押し機能 長押し機能



多機能電話機

## ■放送グループの設定

放送出力先をグループ分けすると、複数の放送出力先に対して放送することができます。

ご注意

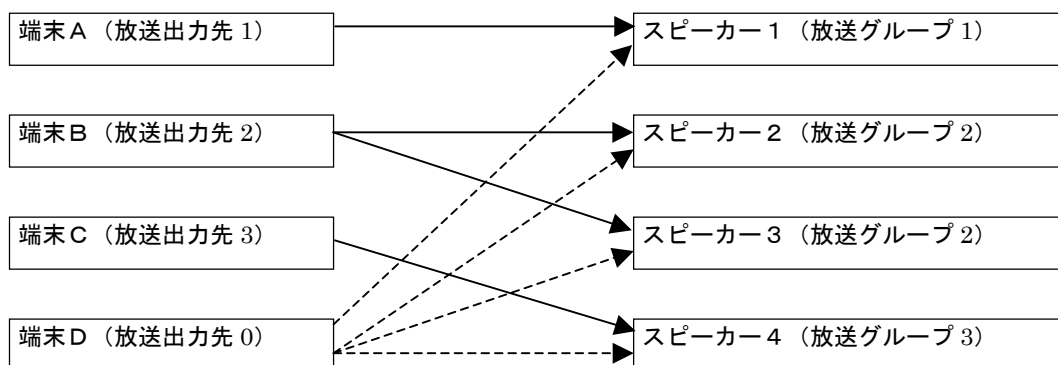
放送を行うためには、この設定のほかに、放送入出力ユニット内部のスイッチが「放送モード」に設定されている必要があります。詳しくは、設置説明書（工事説明書）をご覧ください。

例. 以下のように設定した場合、インカム端末の放送ボタンを押すと実線あるいは点線のように放送が行えます。

<通話グループメンバー登録で設定>

18ページ

<放送グループの設定>



放送グループの設定は、次の手順で行ないます。

プログラムモード

キホン サービス オフ 1 オフ 2

1 ③ ① ① ④ ① を押します。

31-04-01 スピーカ 1

ホウソウグループ 1

← →

2 各スピーカー（放送出力先）の放送グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

・放送グループ番号：1～8

0 = 設定なし

・例. 放送グループ番号 2 の場合

② と押した後、**転送**ボタンを押します。

・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。

・以下同様に、スピーカー 8 まで設定します。（スピーカー 9 は使用しません）



放送入出力ユニット（放送）の各ポートのスピーカー番号は、プログラム番号【10-03-□□】で調べることができます。 42ページ、112ページ

3 **応答**ボタンを 4 回押します。

プログラムモード

キホン サービス オフ 1 オフ 2

## ■ 外線の設定

まず、(1) 外線の基本設定を行います。

次に、外線からの着信に対する着信先を設定します。外線からのアクセスタイプで設定方法が異なります。

- (2) 一般着信の場合
  - ：外線から着信があると、あらかじめ設定された端末（複数台可）に着信します。
- (3) DIL（ダイレクト ライン）の場合
  - ：外線から着信があると、あらかじめ設定された1台の端末にのみ着信します。
- (4) DID（ダイレクト イン ダイヤリング）の場合〔インカムへの参加設定〕
  - ：外線からパスワードなしでインカムに参加します。
- (5) DISA（ダイレクト サービス アクセス）の場合〔インカムへの参加設定〕
  - ：外線からパスワードを入力することでインカムに参加します。



外線を使用するためには、電話回線接続ボード（幹旋品）を主装置に実装する必要があります。

### (1) 外線の基本設定

次の4つの設定を行います。

- ・電話回線種類（ダイヤル式／プッシュ式）の設定
- ・接続形態（NTTなどの通信事業者の電話回線／上位 PBX）の設定
- ・未使用外線ポートの設定
- ・外線発信規制の設定（外線をインカム参加専用で使用する場合にのみ設定します）

#### ● 電話回線種類の設定

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

1 ① ④ ① ② ① を押します。

14-02-01	ガイセン 1
DP/PB	1:20PPS
← -1	+1 →

2 音量ボタンで設定したい外線を選択して電話回線種類を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・ダイヤル式（DP10PPS）の場合は、① を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・ダイヤル式（DP20PPS）の場合は、② を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・プッシュ式（PB）の場合は、③ を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

#### ● 接続形態の設定

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

1 ① ④ ① ④ ① を押します。

14-04-01	ガイセン 1
モード 1	セツブ ク=0:キョクセン
← -1	+1 →

2 音量ボタンで設定したい外線を選択して接続形態種類を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・NTTなどの通信事業者の電話回線に直接接続の場合は、① を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・上位の他 PBX 交換機に接続の場合は、② を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・運用モードはモード1に設定してください。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

## ●未使用外線ポートの設定

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

1 ⑨ ① ① ① ⑥ ① ① を押します。

90-06-01	ガイセン 1
メニュー	1: カイジ ョ
← -1	+1 →

2 音量ボタンで設定したい外線を選択して設定値を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・公衆回線や上位 PBX などに接続しない外線として設定する場合は、① を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・公衆回線や上位 PBX などに接続する外線として設定する場合は、② を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・終了する場合は、**応答**ボタンを 4 回押します。



多機能電話機から未使用外線を捕捉しないようにするために設定します。

## ●外線発信規制の設定

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

1 ① ④ ① ⑦ ① ① を押します。

14-07-01	アクセスマップ 1
ガイセン 001=7	ハッチャクシンホリユウ
← -1	+1 →

2 ソフトキー「←」でカーソルを外線番号に移動させて、ソフトキー「+1」「-1」で設定したい外線を選択します。

14-07-01	アクセスマップ 1
ガイセン 001=7	ハッチャクシンホリユウ
← -1	+1 →

3 ソフトキー「→」でカーソルを設定項目に移動させて、設定値を入力し、**転送**ボタンを押します。

14-07-01	アクセスマップ 1
ガイセン 001=7	ハッチャクシンホリユウ
← -1	+1 →

- ・発信規制を設定する場合は、⑤ を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・発信規制を解除する場合は、⑦ を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
- ・終了する場合は、**応答**ボタンを 4 回押します。



多機能電話機から外線発信している間など外線使用中は、外線からインカムに参加できなくなります。  
このため、多機能電話機から外線発信できなくするために設定します。

## (2) 一般着信の場合

次の3つの設定を行います。

- ・運用形態の設定
- ・外線着信先グループの設定
- ・外線着信先グループの登録



外線着信先グループは、インカムのグループとは関係がありません。

### ●運用形態の設定

プログラムモード  
 キホン サービス オフ 1 オフ 2

1 ② ② ① ② ① ① を押します。

22-02-01 ガイセン 1  
 モード 1 =0:イッパン  
 ← →

- 2 ① を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

### ●外線着信先グループの設定

プログラムモード  
 キホン サービス オフ 1 オフ 2

1 ② ② ① ⑤ ① ① を押します。

22-05-01 ガイセン 1  
 モード 1 =1  
 ← →

- 2 音量ボタンで設定したい外線を選択し、着信先グループ番号を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・例. 着信先グループ番号1の場合  
 ① と押した後、**転送**ボタンを押します。
  - ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

### ●外線着信先グループの登録

プログラムモード  
 キホン サービス オフ 1 オフ 2

1 ② ② ① ④ ① ① を押します。

22-04-01 チャックグループ 1  
 メンバー 01=100  
 ← →

- 2 音量ボタンで設定したい着信先グループを選択して登録したい内線番号を入力し、**転送**ボタンを押します。
- ・例. 内線番号100の場合  
 ① ① ① と押した後、**転送**ボタンを押します。
  - ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
  - ・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

### <外線着信先グループの設定例>

外線ポート1に着信時、内線番号100、103、112の多機能電話機を鳴動させる場合

- ・外線着信先グループの設定：  
 ガイセン1、モード1=1
- ・外線着信先グループの登録：  
 メンバー01=100  
 メンバー02=103  
 メンバー03=112

### (3) DIL (ダイレクト ライン) の場合

次の3つの設定を行います。

- ・運用形態の設定
- ・着信先の設定

#### ●運用形態の設定

プログラムモード					
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2

1 (2) (2) (0) (2) (0) (1) を押します。

22-02-01		ガイセン1
モード1	=0:	イッパン
←		→

- 2 (4) を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

#### ●着信先の設定

プログラムモード					
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2

1 (2) (2) (0) (7) (0) (1) を押します。

22-07-01		ガイセン1
モード1	=	
←		→

- 2 音量ボタンで設定したい外線を選択して着信させたい内線番号を入力し、**転送**ボタンを押します。
- ・例. 内線番100の場合  
(1) (0) (0) と押した後、**転送**ボタンを押します。
  - ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
  - ・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

#### (4) DID (ダイレクト イン ダイヤリング) の場合〔インカムへの参加設定〕

次の5つの設定を行います。

- ・運用形態の設定
- ・誤ダイヤル時の着信先設定
- ・未応答、話中時の転送先設定
- ・自動ダイヤルの設定〔インカムへの自動参加設定〕
- ・外線のインカム参加強制切断ボタンの設定

##### ●運用形態の設定

プログラムモード					
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2

1 (2) (2) (0) (2) (0) (1) を押します。

22-02-01	ガイセン	1
モード	1	=0:イッパン
← →		

- 2 (1) を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

##### ●誤ダイヤル時の着信先設定

プログラムモード					
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2

1 (2) (5) (0) (3) (0) (1) を押します。

25-03-01	ガイセン	ポート1
モード	1	チャクシンサキ 0
← →		

- 2 音量ボタンで設定したい外線を選択して着信先を入力し、**転送**ボタンを押します。
- ・切断する場合は、(0)を押した後、**転送**ボタンを押します。(推奨)
  - ・着信グループに転送する場合は、着信先グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。
  - ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

##### ●未応答、話中時の転送先設定

プログラムモード					
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2

1 (2) (5) (0) (4) (0) (1) を押します。

25-04-01	ガイセン	ポート1
モード	1	テンソウサキ 0
← →		

- 2 音量ボタンで設定したい外線を選択して着信先を入力し、**転送**ボタンを押します。
- ・切断する場合は、(0)を押した後、**転送**ボタンを押します。(推奨)
  - ・着信グループに転送する場合は、着信先グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。
  - ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

## ●自動ダイヤルの設定[インカムへの自動参加設定]

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ	1 オフ 2

- 1 ② ⑤ ① ④ ① を押します。

25-14-01	ガイセンポート1
モード1	ダイヤル=
←	→

- 2 音量ボタンで設定したい外線を選択して自動ダイヤルしたいダイヤル番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・特定の通話グループへ参加させる場合は、  
「グループ通話アクセス」特番(初期値は「858」)  
+

参加通話グループ番号(1~8、0で一斉連絡)を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・例1. グループ1に参加させる場合  
⑧ ⑤ ⑧ ① を押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・例2. 一斉連絡で参加させる場合  
⑧ ⑤ ⑧ ① を押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・運用モードはモード1に設定してください。
- ・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。



外線からサービス特番を入力せずにインカムへ自動的に参加させたい場合に設定します。

## ●外線のインカム参加強制切断ボタンの設定

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ	1 オフ 2

- 1 ① ⑤ ① ⑦ ① を押します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

- 2 **再/短**ボタンでカーソルを「内線番号選択」に移動させて、ソフトキー「←」で設定したい多機能電話機の内線番号を選択します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

- 3 **再/短**ボタンでカーソルを「ボタン選択」に移動させて、ソフトキー「←」で設定したいファンクションボタンを選択します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

- 4 **再/短**ボタンでカーソルを「設定項目」に移動させて、機能番号「\*27」を入力し、**転送**ボタンを押します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

- 5 切断したい外線が参加しているグループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= 7カ0
←	→

- ・グループ番号: 1~8  
0=全グループ

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。



外線からのグループ通話の終了が検出されないなどの場合に強制切断するためのボタンを多機能電話機などのファンクションボタンに割り付けます。  
ファンクションボタンに割り付けなくても、サービス特番(初期値「859」)+通話グループ番号(1~8、0で全グループ)を入力することでも強制切断は行えます。



## (5) DISA (ダイレクト サービス アクセス) の場合 [インカムへの参加設定]

次の7つの設定を行います。

- ・運用形態の設定
- ・誤ダイヤル時の着信先設定
- ・未応答、話中時の転送先設定
- ・自動ダイヤルの設定 [インカムへの自動参加設定]
- ・外線のインカム参加強制切断ボタンの設定
- ・ユーザーID (パスワード) の使用可否設定
- ・ユーザーID 設定 (ユーザーID を使用する場合のみ設定します)

## ●運用形態の設定

プログラムモード									
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2				

1 (2) (2) (0) (2) (0) (1) を押します。

22-02-01 ガイセン1									
モード1 =0:イッパン									
←					→				

- 2 (2) を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・変更しない場合は、**転送**ボタンを押します。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

## ●誤ダイヤル時の着信先設定

プログラムモード									
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2				

1 (2) (5) (0) (3) (0) (1) を押します。

25-03-01 ガイセンポート1									
モード1 チャクシンサキ 0									
←					→				

- 2 音量ボタンで設定したい外線を選択して着信先を入力し、**転送**ボタンを押します。
- ・切断する場合は、(0)を押した後、**転送**ボタンを押します。(推奨)
  - ・着信グループに転送する場合は、着信先グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。
  - ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

## ●未応答、話中時の転送先設定

プログラムモード									
キホン	サービス	オフ	1	オフ	2				

1 (2) (5) (0) (4) (0) (1) を押します。

25-04-01 ガイセンポート1									
モード1 テンソウサキ 0									
←					→				

- 2 音量ボタンで設定したい外線を選択して着信先を入力し、**転送**ボタンを押します。
- ・切断する場合は、(0)を押した後、**転送**ボタンを押します。(推奨)
  - ・着信グループに転送する場合は、着信先グループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。
  - ・運用モードはモード1に設定してください。
  - ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。

## ●自動ダイヤルの設定[インカムへの自動参加設定]

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ	1 オフ 2

1 ② ⑤ ① ④ ① を押します。

25-14-01	ガイセンポート1
モード1	ダイヤル=
←	→

2 音量ボタンで設定したい外線を選択して自動ダイヤルしたいダイヤル番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・特定の通話グループへ参加させる場合は、  
「グループ通話アクセス」特番(初期値は「858」)  
+

参加通話グループ番号(1~8、0で一斉連絡)を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・例1. グループ1に参加させる場合  
⑧ ⑤ ⑧ ① を押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・例2. 一斉連絡で参加させる場合  
⑧ ⑤ ⑧ ① を押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・運用モードはモード1に設定してください。
- ・登録を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。



外線からサービス特番を入力せずにインカムへ自動的に参加させたい場合に設定します。

## ●外線のインカム参加強制切断ボタンの設定

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ	1 オフ 2

1 ① ⑤ ① ⑦ ① ① を押します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

2 **再/短**ボタンでカーソルを「内線番号選択」に移動させて、ソフトキー「←」で設定したい多機能電話機の内線番号を選択します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

3 **再/短**ボタンでカーソルを「ボタン選択」に移動させて、ソフトキー「←」で設定したいファンクションボタンを選択します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

4 **再/短**ボタンでカーソルを「設定項目」に移動させて、機能番号「\*27」を入力し、**転送**ボタンを押します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= *20
←	→

5 切断したい外線が参加しているグループ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

15-07-01	TEL100
キ-01	= 7カ0
←	→

- ・グループ番号：1~8  
0=全グループ

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。



外線からのグループ通話の終了が検出されないなどの場合に強制切断するためのボタンを多機能電話機などのファンクションボタンに割り付けます。  
ファンクションボタンに割り付けなくても、サービス特番(初期値「859」)+通話グループ番号(1~8、0で全グループ)を入力することでも強制切断は行えます。

## ●ユーザーID(パスワード)の使用可否設定

プログラムモード									
キホシ	サービス	オフ	1	オフ	2				

1 (2) (5) (0) (1) (0) (2) を押します。

25-01-02	ガイセンホート1								
DISA ユーザーショウ		0	:	オフ					
←		→							

2 音量ボタンで設定したい外線を選択して設定値を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・ユーザーID 入力を不要とする場合は、(0) を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・ユーザーID 入力を必要とする場合は、(1) を押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。



外線からユーザーID 入力を必要とするか、不要とするかを設定します。ユーザーID 入力を不要に設定すると、DID と同じになります。

## ●ユーザーID設定

プログラムモード									
キホシ	サービス	オフ	1	オフ	2				

1 (2) (5) (0) (8) (0) (1) を押します。

25-08-01	DISA ユーザー 1								
DISA ユーザー ID									
←		→							

2 音量ボタンで設定したい DISA ユーザーを選択してユーザーID (6桁) を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・例. 1 2 3 4 5 6 と入力する場合

(1) (2) (3) (4) (5) (6) を押した後、

**転送**ボタンを押します。

- ・設定を消去する場合は、**保留**ボタンを押した後、**転送**ボタンを押します。

- ・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。



ユーザーID とは、外線からアクセスする際のパスワードです。15 とおりのユーザーID が登録でき、それぞれを DISA ユーザーとして設定します。

## 動作の確認

全てのシステム設定を終了した後、以下の項目の確認を行ってください。

- 子機の電源を入れて、グループ通話ができること。
- 多機能電話機もインカムに参加する場合は、インカムモードに入りグループ通話ができること。
- グループ数が2以上の場合は、グループに分かれてグループ通話ができること。
- 一斉ボタンが設定してある場合は、一斉ボタンを押して、全員に「ビ」というモード切り換え音が聞こえ、音声聞こえること。
- 個別ボタンが設定してあり、かつ、呼び出す相手が設定してある場合は、
  - ・個別ボタンを押して、設定した相手が呼出されること。
  - ・個別呼び出しされた端末の応答ボタンを押して個別通話（1対1）通話ができること。
- グループ切換ボタンが設定してある場合は、グループ切換ボタンを押して設定したグループに切り換えができること。
- 放送入出力ユニット経由でインカムに音を入力する場合は、設定したグループに入力した音が聞こえること。
- 放送入出力ユニット経由でインカムの音を出力する場合は、設定したスピーカーにグループの音が聞こえること。
- 放送入出力ユニット経由で放送する場合は、端末の放送ボタンを押して設定したスピーカーから音声聞こえること。
- 外線を使用する場合
  - ・発信規制を設定しなかった場合は、外線発信ができること。
  - ・外線着信ができること。

## システムデータのセーブ

システムデータをコンパクトフラッシュカードに保存します。  
設定したシステムデータは、CPU ボードの SRAM およびフラッシュメモリー上に格納されています。SRAM に格納されているシステムデータをフラッシュメモリーへデータセーブした後、フラッシュメモリーからコンパクトフラッシュカードへデータセーブします。

用意するもの：

- ・ 空のコンパクトフラッシュカード
- ・ コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプター

準備：コンパクトフラッシュカードを、CPU ボード WD-MU20 上の PCMCIA カードスロットに次の手順で挿入します。

- ① 空のコンパクトフラッシュカードを、コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターに挿入します。
- ② コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターを CPU ボードの PCMCIA カードスロット(CN11)のガイドに沿って挿入します。
- ③ PCMCIA カードスロットのコネクターに、しっかり挿入されるように差し込みます。
- ④ CPU ボード WD-MU20 の LED4 が赤点灯したことを確認します。



データセーブには、約 1 分～2 分かかります。システム運用中は、データセーブを行わないでください。

次の手順で行います。

- (1) SRAM データからフラッシュメモリーへデータセーブする
- (2) フラッシュメモリーからコンパクトフラッシュカードへデータセーブする

### ■SRAMデータからフラッシュメモリーへ

#### データセーブする

内線電話モードから行います。

1-23 MON 10:10AM  
100  
リレキ ケンサク ナイセン セツテイ

- 1 **スピーカ** ボタンを押した後、**(#)** **(\*)** **(0)** **(3)** を押します。

1-23 MON 10:10AM  
#\*0

- 2 データセーブボタンが完了すると、つぎのように表示が変わります。

1-23 MON 10:10AM  
データセーブ カンリョウ !

- 3 **スピーカ** ボタンを押します。

1-23 MON 10:10AM  
100  
リレキ ケンサク ナイセン セツテイ

\* 続いて『フラッシュメモリーからコンパクトフラッシュカードへデータセーブする』を行います。

## ■フラッシュメモリーからコンパクト

### フラッシュカードへデータセーブする

プログラムモードから行います。

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

1 ⑨ ① ③ ① を押します。

90-03-01
データセーブ YES:1
← →

2 設定値を入力し、**転送**ボタンを押します。

- ・セーブ実行するときは、①を押した後、**転送**ボタンを押します。
- ・セーブ実行しないときは、**転送**ボタンを押します。

3 つぎのように表示が変わったら、セーブ完了です。

90-04-	メンテナンス
データロード	11
モデル ↑ ↓ センタリ	

- ・**応答**ボタンを2回押します。

4 CPU ボードからコンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターを抜きます。

- ①PCMCIA カードスロット(CN11)のイジェクトボタンを押し込みます。
- ②PCMCIA カードスロットのコネクターからコンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターが外れるので、指ではさんで抜き出します。

## ■ システムデータのロード

コンパクトフラッシュカードに保存されているシステムデータを CPU ボードの SRAM およびフラッシュメモリー上にロード（書き込み）ます。

用意するもの：

- ・ システムデータが保存されているコンパクトフラッシュカード
- ・ コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプター

準備：コンパクトフラッシュカードを、CPU ボード WD-MU20 上の PCMCIA カードスロットに次の手順で挿入します。

- ① システムデータが保存されているコンパクトフラッシュカードを、コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターに挿入します。
- ② コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターを CPU ボードの PCMCIA カードスロット(CN11)のガイドに沿って挿入します。
- ③ PCMCIA カードスロットのコネクタに、しっかり挿入されるように差し込みます。
- ④ CPU ボード WD-MU20 の LED4 が赤点灯したことを確認します。

注意

- データロードには、約 3 分～5 分かかります。システムの運用中は、データロードを行わないでください。
- データロード後は必ずシステムリセットを行ってください。システムリセットを行わないと、システムが正常に動作しないことがあります。

次の手順で行います。

- (1) データをロードする
- (2) システムリセットする

### ■ データをロードする

プログラムモードから行います。

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ	1 オフ 2

- 1 ⑨ ① ④ ① を押します。

90-04-01
データロード YES:1
← →

- 2 設定値を入力し、**転送**ボタンを押します。
- ・ ロード実行するときは、①を押した後、**転送**ボタンを押します。
  - ・ ロード実行しないときは、**転送**ボタンを押します。

- 3 つぎのように表示が変わったら、Exit ① を押します。

90-05-	メンテナンス
スロットコントロール	11
モデル ↑ ↓ センタク	

- 4 約 3 分～5 分後に多機能電話機の LCD が内線電話モードに戻り、ロードが完了します。

### ■ システムリセットする



「データをロードする」でロードを実行しなかった場合は、この操作は不要です。

- 1 内線電話モードで、CPU ボードの SW2(RESET スイッチ)を押し上げてすぐはなします。
- 2 約 2 分後に多機能電話機の LCD が内線電話モードに戻り、システムリセットが完了します。
- 3 CPU ボードからコンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターを抜きます。
  - ① PCMCIA カードスロット(CN11)のイジェクトボタンを押し込みます。
  - ② PCMCIA カードスロットのコネクタからコンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターが外れるので、指ではさんで抜き出します。

## ■システムデータの初期化

CPU ボードの SRAM およびフラッシュメモリ上のシステムデータを初期化（工場出荷設定）します。

### ご注意

- あらかじめ主装置の電源を入れて多機能電話機が内線電話モードであることを確認してから行ってください。
- システムデータの初期化には、約3分～5分かかります。
- システムデータ初期化完了後はシステムリセットが実行されますので、システム運用中は行わないでください。

- 1** CPU ボードにコンパクトフラッシュカードが挿入されていないことを確認します。
- 2** 多機能電話機を内線電話モードの状態にして、CPU ボードの SW 1 (LOAD スイッチ)を押したまま、SW 2 (RESET スイッチ) を押し上げてすぐはなします。
- 3** 約3秒後に CPU ボードの SW 1 (LOAD スイッチ)をはなします。
- 4** 約1分後に CPU ボードの LED 0 が点灯し、初期化が開始されます。
- 5** 約2分後に多機能電話機の LCD が内線電話モードに戻り、初期化が完了します。



## ■ システムソフトのバージョンアップ

新しい機能が追加になったときなど、システムソフトのバージョンアップが必要になる場合があります。このような場合は、以下の手順でシステムソフトのロードを行ってください。

用意するもの：

- ・システムソフトが入っているコンパクトフラッシュカード
- ・コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプター

準備：コンパクトフラッシュカードを、CPU ボード WD-MU20 上の PCMCIA カードスロットに次の手順で挿入します。

- ①システムソフトが入っているコンパクトフラッシュカードを、コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターに挿入します。
- ②コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターを CPU ボードの PCMCIA カードスロット(CN11)のガイドに沿って挿入します。
- ③PCMCIA カードスロットのコネクタに、しっかり挿入されるように差し込みます。
- ④CPU ボード WD-MU20 の LED4 が赤点灯したことを確認します。

●注意

- あらかじめ主装置の電源を入れて多機能電話機が内線電話モードであることを確認してから行ってください。
- システムソフトのバージョンアップには、約 10 分かかります。
- システムソフトのバージョンアップは、システムリセットをする必要がありますのでシステム運用中は行わないでください。

- 1 CPU ボードにシステムソフトが入っているコンパクトフラッシュカードが挿入されていることを確認します。
  - ・CPU ボードの LED4 が赤点灯であることを確認します。LED4 が消灯している場合は、確実に挿入されているか確認してください。
- 2 多機能電話機を内線電話モードにして、CPU ボードの SW 1 (LOAD スイッチ)を押したまま、SW 2 (RESET スイッチ)を押上げてすぐはなします。
- 3 約 3 秒後に SW 1 (LOAD スイッチ)をはなします。
  - ・システムがリセット状態になります (CPU ボードの LED 1 が点滅から点灯し、消灯します)。
  - ・CPU ボードの LED4 はコンパクトフラッシュカードを挿入している間、赤点灯状態のままとなります。
- 4 CPU ボードの LED0 が点灯し、ソフトウェアのダウンロードが始まると、LED3 が不規則に点滅します。
  - ・バージョンアップ用ソフトウェアが書き込まれるまでに約 2～3 分かかります。その間システムは休止状態となります。
- 5 CPU ボードの LED0、LED2、LED3 が点滅したら、コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターを抜きます。
  - ・PCMCIA カードスロット(CN11)のイジェクトボタンを押し込みます。
  - ・PCMCIA カードスロットのコネクタからコンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターが外れるので、指ではさんで抜き出します。
- 6 CPU ボードの SW 2 (RESET スイッチ)を押上げてすぐはなします。
  - ・システムが再度リセットされます。
  - ・システムが立ち上がるまでに約 7～8 分かかります。
- 7 多機能電話機が内線電話モードに戻ったら、システムソフトのバージョンアップは完了です。
  - ・多機能電話機で **特殊** ボタンを押した後、**③** ボタンを押して LCD に表示されるソフトウェアバージョンが、ダウンロードしたソフトウェアバージョンになっていることを確認します。

## プログラム詳細

### プログラム一覧

プログラム番号は、つぎのように構成されています。

プログラム番号【◇◇ー△△ー□□】

大項目 中項目 小項目

下表のプログラム番号中の□□は、小項目が複数あることを表しています。

○：必ず設定してください。△：オプション使用時など必要に応じて設定してください。

	プログラム番号	プログラム名称	ページ
○	10-01-□□	日付・時刻設定	4 4
△	10-03-□□	電話機接続ボード、電話回線接続ボードの論理ポート番号確認	4 5
	10-10-02	セルステーションのランプ表示設定	4 6
	11-01-01	番号計画	4 7
△	11-02-01	多機能電話機、子機の内線番号設定	4 8
△	11-06-01	放送入出力ユニットの内線番号設定	4 9
	11-10-□□	サービス特番 1 設定	5 0
	11-11-□□	サービス特番 2 設定	5 1
	11-12-□□	サービス特番 3 設定	5 2
	11-18-□□	サービス特番 4 設定	5 3
△	14-01-01	外線名称設定	5 4
△	14-02-□□	外線の基本設定	5 5
△	14-04-01	外線の接続形態設定	5 6
△	14-07-01	外線のアクセスマップ設定	5 7
△	15-01-01	内線名称設定	5 8
	15-04-01	子機の PSID 確認	5 9
△	15-07-01	端末のファンクションボタン設定	6 0
	20-22-□□	PHS 関連タイマー設定	6 1
	21-04-01	内線の発信規制クラス設定	6 2
	21-05-□□	発信規制クラス設定	6 3
△	22-02-01	外線の運用形態設定	6 4
	22-04-01	外線の着信グループ設定	6 5
	22-05-01	外線の一般着信先設定	6 6
△	22-07-01	DIL 着信の着信先設定	6 7
△	25-01-02	DISA ユーザーID 使用可否設定	6 8
△	25-03-01	DID/DISA 誤ダイヤル時の着信先設定	6 9
△	25-04-01	DID/DISA 未応答・話中時の転送先設定	7 0
△	25-08-01	DISA のユーザーID 設定	7 1
△	25-14-01	DID/DISA の自動ダイヤル設定	7 2
△	31-04-01	外部スピーカーの放送グループ設定	7 3
	31-06-□□	外部スピーカーの制御情報設定	7 4
	33-01-01	放送入出力ユニットの入出力タイプ設定	7 5
△	33-03-01	放送入出力ユニットのインカム通話グループ複数接続先設定	7 6
○	48-01-□□	インカムのシステム機能設定	7 7
○	48-02-01	インカムの通話グループ定員数設定	7 8
○	48-03-□□	インカムの通話グループメンバー設定	7 9
	83-01-□□	セルステーションのデータ設定	8 1
	83-05-□□	セルステーションのエリア情報設定	8 2
	83-08-□□	セルステーションの付加 ID 割当て機能設定	8 3
	83-09-01	セルステーションの付加 ID 設定	8 4
	83-10-01	仮想システム ID の設定	8 5

○：必ず設定してください。△：オプション使用時など必要に応じて設定してください。

	プログラム番号	プログラム名称	ページ
○	90-01-□□	運用開始日設定	86
○	90-03-01	データセーブ	87
	90-04-01	データロード	88
	90-05-01	スロットコントロール	89
	90-06-01	外線の閉塞	90
	90-08-01	システムリセット	91
	90-14-□□	PHS システム ID の参照・削除	92
	90-15-01	セルステーションのソフトウェアダウンロード	93
	90-16-□□	CPU ボードのメインソフトウェア情報確認	94
○	91-01-01	子機登録	95
	91-02-01	子機登録削除	96
	91-03-01	子機登録用セルステーション設定	97
	91-04-01	PS 番号による子機登録	98
	91-05-01	内線番号による子機登録	99
	92-03-01	PS 番号による設定データコピー	100

## プログラム詳細説明

プログラム番号		1 0 - 0 1 - □ □	
プログラム名称		日付・時刻の設定	
説明	【10-01-01】 現在時刻の西暦を設定します。 【10-01-02】 現在時刻の月を設定します。 【10-01-03】 現在時刻の日を設定します。 【10-01-04】 現在時刻の曜日を設定します。 【10-01-05】 現在時刻の時を設定します。 【10-01-06】 現在時刻の分を設定します。 【10-01-07】 現在時刻の秒を設定します。		
入力データ	【10-01-01】 0 0 ～ 9 9 （西暦の下 2 桁を入力します） 【10-01-02】 0 1 ～ 1 2 【10-01-03】 0 1 ～ 3 1 【10-01-04】 1 = 日 2 = 月 3 = 火 4 = 水 5 = 木 6 = 金 7 = 土 【10-01-05】 0 0 ～ 2 3 （ 2 4 時間表示で時間を入力します） 【10-01-06】 0 0 ～ 5 9 【10-01-07】 0 0 ～ 5 9		
初期値			
備考／メモ			

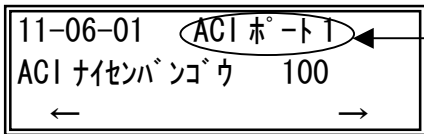
プログラム番号	10-03-□□	
プログラム名称	電話機接続ボード、電話回線接続ボードの論理ポート番号確認	
説明	<p>【10-03-01】チャンネル1に接続された端末の種別を設定・確認します。</p> <p>【10-03-02】上記「10-03-01」で割り付けられた端末種別に対する論理ポート番号を確認します。(自動設定)</p> <p>【10-03-03】使用しません。</p> <p>【10-03-04】使用しません。</p> <p>【10-03-05】使用しません。</p> <p>【10-03-06】チャンネル2に接続された端末の種別を設定・確認します。</p> <p>【10-03-07】上記「10-03-06」で割り付けられた端末種別に対する論理ポート番号を確認します。(自動設定)</p>	
入力データ	<p>【10-03-01】＜電話機接続ボードの場合＞</p> <p>1＝多機能電話機 : 表示「TEL」</p> <p>6＝放送入出力ユニット（放送） : 表示「ホウソウ」</p> <p>9＝放送入出力ユニット（グループ通話参加） : 表示「ACI」</p> <p>0／2／3／4／5／7／8／10／11＝未使用</p> <p>【10-03-01】＜電話回線接続ボードの場合＞</p> <p>外線の論理ポート番号が表示されます。</p> <p>【10-03-02】上記「10-03-01」で割り付けられた端末種別により以下のように論理ポート番号が表示されます</p> <p>多機能電話機：1～256</p> <p>放送入出力ユニット（放送）：1～8</p> <p>放送入出力ユニット（グループ通話参加）：1～96</p> <p>【10-03-06】6＝放送入出力ユニット（放送） : 表示「ホウソウ」</p> <p>9＝放送入出力ユニット（グループ通話参加） : 表示「ACI」</p> <p>0／1／2／3／4／5／7／8／10／11＝未使用</p> <p>【10-03-07】上記「10-03-06」で割り付けられた端末種別により以下のように論理ポート番号が表示されます</p> <p>放送入出力ユニット（放送）：1～8</p> <p>放送入出力ユニット（グループ通話参加）：1～96</p>	
初期値		
備考／メモ	<p>●電話回線接続ボードには、プログラム番号【10-03-02】【10-03-06】【10-03-07】はありません。</p> <p>●端末の種別は、初期立ち上げ時および未設定ポートへの増設時には、自動的に割り付けられます。</p> <p>●割り付け済の端末を接続したままの状態、別の端末に変更することはできません。端末種別を変更するときは、実装中の端末を取りはずし、端末種別を「0：未設定」に変更した後、新しい端末を接続します。「0：未設定」のポートに新しい端末を接続すると、端末種別が自動認識されます。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div data-bbox="284 1574 1292 1809" data-label="Diagram"> </div> <p>・ポート番号を切り換えるには ソフトキー「←」「→」でポート番号にカーソルを移動させ、「－」「＋」を押すとポート番号が切り換わります。ポート番号は、01→02→・・・→16→01→・・・と繰り返しますが、電話機接続ボードでは01～08が有効です。</p> <p>・スロット番号を切り換えるには 設定値にカーソルを移動させ、音量ボタンを押すとスロット番号が切り換わります。 ▲：スロット番号を戻す、▼：スロット番号を進める</p>	

プログラム番号		10-10-02					
プログラム名称		セルステーションのランプ表示設定					
説明	セルステーションのランプ表示を詳細表示にするか、しないかを設定します。詳細表示に設定すると、セルステーションの無線チャンネルの使用状況を確認することができます。						
入力データ	0：詳細表示しない 1：詳細表示する						
初期値	0（詳細表示しない）						
備考／メモ	●ランプ表示						
	(1) 動作中、子機登録中						
			状態	LED（赤）	LED（緑）	備考	
					詳細表示する	詳細表示しない	
	通常動作中	アイドル	マスター	点灯	点灯		発着呼まちの状態
			スレーブ	消灯			
		1CH 使用時	マスター	点灯	点滅 (1 秒周期)	点灯	
			スレーブ	消灯			
		2CH 使用時	マスター	点灯	点滅 (0.5 秒周期)	点灯	
			スレーブ	消灯			
		3CH 使用時	マスター	点灯	点滅 (0.1 秒周期)	点灯	
			スレーブ	消灯			
	子機登録中		マスター	点灯	0.1 秒消灯→0.1 秒点灯→0.1 秒消灯 →1.7 秒点灯の周期で点滅		
			スレーブ	消灯			
	* マスター：マスターセルステーション スレーブ：マスターセルステーション以外のセルステーション						
	(2) 活性化中						
			状態	LED（赤）	LED（緑）	備考	
					詳細表示する	詳細表示しない	
	①	リセット		点灯	点灯		電源投後、約 5 秒間継続
	②	ブート		点滅 (1 秒周期)	点灯または消灯 (ロードエリア識別表示)		プログラムロード中
	③	データ伝送周期引き込み		点滅 (1 秒周期)	点滅 (1 秒周期)		通常、瞬時で完了 ・ 正常時：④へ ・ 異常時：⑤へ
	④	初期化およびエリア周期引き込み	マスター	点灯	点滅 (1 秒周期)		・ 正常時：動作中へ移行 ・ 異常時：⑤へ
			スレーブ	消灯			
	⑤	リスタート		点滅 (0.1 秒周期)	点滅 (0.1 秒周期)		約 5 秒継続後、②に戻る
	* マスター：マスターセルステーション スレーブ：マスターセルステーション以外のセルステーション						

プログラム番号	1 1 - 0 1 - 0 1																																								
プログラム名称	番号計画																																								
説明	ダイヤル 1 桁目または 2 桁目を指定します。 システム内で使用する内線番号やサービス特番などのけた数とタイプを設定します。																																								
入力データ	けた数 : 0 = 指定なし 1 = 1 桁必要 2 = 2 桁必要 3 = 3 桁必要 4 = 4 桁必要 タイプ : 0 = 未使用 1 = サービス特番アクセス 2 = 内線アクセス 3 = 外線アクセス 上記以外は設定しないでください																																								
初期値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ダイヤル</th><th>けた数</th><th>タイプ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>3</td><td>2 (内線アクセス)</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>2 (内線アクセス)</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>2 (内線アクセス)</td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td>2 (内線アクセス)</td></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td>2 (内線アクセス)</td></tr> <tr><td>6</td><td>3</td><td>2 (内線アクセス)</td></tr> <tr><td>7</td><td>3</td><td>2 (内線アクセス)</td></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>1 (サービス特番アクセス)</td></tr> <tr><td>9</td><td>3</td><td>1 (サービス特番アクセス)</td></tr> <tr><td>0</td><td>1</td><td>3 (外線アクセス)</td></tr> <tr><td>*</td><td>3</td><td>1 (サービス特番アクセス)</td></tr> <tr><td>#</td><td>4</td><td>1 (サービス特番アクセス)</td></tr> </tbody> </table>		ダイヤル	けた数	タイプ	1	3	2 (内線アクセス)	2	3	2 (内線アクセス)	3	3	2 (内線アクセス)	4	3	2 (内線アクセス)	5	3	2 (内線アクセス)	6	3	2 (内線アクセス)	7	3	2 (内線アクセス)	8	3	1 (サービス特番アクセス)	9	3	1 (サービス特番アクセス)	0	1	3 (外線アクセス)	*	3	1 (サービス特番アクセス)	#	4	1 (サービス特番アクセス)
ダイヤル	けた数	タイプ																																							
1	3	2 (内線アクセス)																																							
2	3	2 (内線アクセス)																																							
3	3	2 (内線アクセス)																																							
4	3	2 (内線アクセス)																																							
5	3	2 (内線アクセス)																																							
6	3	2 (内線アクセス)																																							
7	3	2 (内線アクセス)																																							
8	3	1 (サービス特番アクセス)																																							
9	3	1 (サービス特番アクセス)																																							
0	1	3 (外線アクセス)																																							
*	3	1 (サービス特番アクセス)																																							
#	4	1 (サービス特番アクセス)																																							
備考／メモ	<p>●ダイヤル「#」および「#*」の設定を変更しプログラムモードから抜けると、プログラムモードに入れなくなりますので、変更しないでください。</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤル選択を切り換えるには ソフトキー「←」「→」でダイヤル選択にカーソルを移動させ、「-」「+」を押すとダイヤル選択が切り換わります。ダイヤル選択は、1x→11→・・・→19→10→1*→1#→1x・・・と繰り返します。</li> <li>対象ダイヤルを切り換えるには けた数選択にカーソルを移動させ、音量ボタンを押すと対象ダイヤル番号が切り換わります。 ▲：ダイヤル番号を戻す、▼：ダイヤル番号を進める</li> <li>タイプ設定するには 桁数設定にカーソルを移動させ、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">転送</span>ボタンを押すと、以下のようなタイプ設定画面となります。 また、ここでも、ダイヤル選択切り換え、対象ダイヤル番号切り換えは上記と同様に行えます。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> </div>																																								

プログラム番号		1 1 - 0 2 - 0 1																													
プログラム名称		多機能電話機、子機の内線番号設定																													
説明	多機能電話機、インカム端末などの内線番号を設定します。																														
入力データ	内線番号（最大8桁）																														
初期値	<table><thead><tr><th>内線ポート番号</th><th>内線番号</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>1 0 0</td></tr><tr><td>:</td><td>:</td></tr><tr><td>1 0 0</td><td>1 9 9</td></tr><tr><td>1 0 1</td><td>未設定</td></tr><tr><td>:</td><td>:</td></tr><tr><td>2 5 6</td><td>未設定</td></tr><tr><td>2 7 5</td><td>2 0 0</td></tr><tr><td>:</td><td></td></tr><tr><td>3 5 6</td><td>2 9 9</td></tr><tr><td>3 5 7</td><td>未設定</td></tr><tr><td>:</td><td>:</td></tr><tr><td>5 1 2</td><td>未設定</td></tr></tbody></table>					内線ポート番号	内線番号	1	1 0 0	:	:	1 0 0	1 9 9	1 0 1	未設定	:	:	2 5 6	未設定	2 7 5	2 0 0	:		3 5 6	2 9 9	3 5 7	未設定	:	:	5 1 2	未設定
内線ポート番号	内線番号																														
1	1 0 0																														
:	:																														
1 0 0	1 9 9																														
1 0 1	未設定																														
:	:																														
2 5 6	未設定																														
2 7 5	2 0 0																														
:																															
3 5 6	2 9 9																														
3 5 7	未設定																														
:	:																														
5 1 2	未設定																														
備考／メモ	<p>●内線番号の重複設定はできません。入力しようとしても無視されます。</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div><div><div>11-02-01</div><div>サインポート1</div><div>サインバンクウ</div><div>100</div><div>←</div><div>→</div></div><div>内線ポート番号</div></div> <p>・内線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：内線ポート番号を戻す</p> <p>▼：内線ポート番号を進める</p>																														



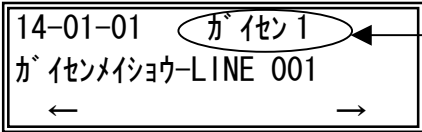
プログラム番号	11-06-01	
プログラム名称	放送入出力ユニットの内線番号設定	
説明	放送入出力ユニットの各ポートの内線番号を設定します。	
入力データ	内線番号（最大8桁）	
初期値	未設定	
備考／メモ	<p>●【11-02-01】（電話機の内線番号設定）との重複設定はできません。入力しようとしても無視されます。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>放送入出力ユニットのポート番号</p> <p>・放送入出力ユニットのポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：ポート番号を戻す</p> <p>▼：ポート番号を進める</p>	

プログラム番号	1 1 - 1 0 - □ □																
プログラム名称	サービス特番 1 設定																
説明	サービス特番（各種機能を実行するときに多機能電話機でダイヤルする番号）を設定します。 システムには複数のサービス特番があり、ここでの設定とプログラム番号【11-11-□□】【11-12-□□】【11-18-□□】での設定との重複設定はできません。																
入力データ	0～9、#（最大8桁）																
初期値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム番号</th> <th>機能</th> <th>ダイヤル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【11-10-01】</td> <td>運用モード切り換え（自グループ）</td> <td>* 0 1</td> </tr> <tr> <td>【11-10-03】</td> <td>時刻データ設定</td> <td>* 0 3</td> </tr> <tr> <td>【11-10-04】</td> <td>共通・個別短縮ダイヤル設定</td> <td>* 0 4</td> </tr> <tr> <td>【11-10-05】</td> <td>グループ短縮ダイヤル設定</td> <td>* 0 5</td> </tr> </tbody> </table>		プログラム番号	機能	ダイヤル	【11-10-01】	運用モード切り換え（自グループ）	* 0 1	【11-10-03】	時刻データ設定	* 0 3	【11-10-04】	共通・個別短縮ダイヤル設定	* 0 4	【11-10-05】	グループ短縮ダイヤル設定	* 0 5
プログラム番号	機能	ダイヤル															
【11-10-01】	運用モード切り換え（自グループ）	* 0 1															
【11-10-03】	時刻データ設定	* 0 3															
【11-10-04】	共通・個別短縮ダイヤル設定	* 0 4															
【11-10-05】	グループ短縮ダイヤル設定	* 0 5															
備考／メモ	●上記以外のプログラム番号【11-10-□□】は未使用となりますので、変更しないでください。																

プログラム番号	11-11-□□																												
プログラム名称	サービス特番2設定																												
説明	サービス特番（各種機能を実行するときに多機能電話機でダイヤルする番号）を設定します。 システムには複数のサービス特番があり、ここでの設定とプログラム番号【11-10-□□】【11-12-□□】【11-18-□□】での設定との重複設定はできません。																												
入力データ	0～9、#（最大8桁）																												
初期値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム番号</th><th>機能</th><th>ダイヤル</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【11-11-01】</td><td>着信転送</td><td>9 0 1</td></tr> <tr> <td>【11-11-02】</td><td>話中転送</td><td>9 0 2</td></tr> <tr> <td>【11-11-05】</td><td>不在着信転送設定</td><td>9 0 5</td></tr> <tr> <td>【11-11-08】</td><td>着信拒否設定</td><td>9 0 8</td></tr> <tr> <td>【11-11-17】</td><td>機能ボタン設定（一般）</td><td>9 1 7</td></tr> <tr> <td>【11-11-20】</td><td>着信音色切り換え</td><td>9 2 0</td></tr> <tr> <td>【11-11-22】</td><td>内線名称入力</td><td>9 2 2</td></tr> <tr> <td>【11-11-34】</td><td>発信規制一時解除</td><td>9 3 4</td></tr> </tbody> </table>		プログラム番号	機能	ダイヤル	【11-11-01】	着信転送	9 0 1	【11-11-02】	話中転送	9 0 2	【11-11-05】	不在着信転送設定	9 0 5	【11-11-08】	着信拒否設定	9 0 8	【11-11-17】	機能ボタン設定（一般）	9 1 7	【11-11-20】	着信音色切り換え	9 2 0	【11-11-22】	内線名称入力	9 2 2	【11-11-34】	発信規制一時解除	9 3 4
プログラム番号	機能	ダイヤル																											
【11-11-01】	着信転送	9 0 1																											
【11-11-02】	話中転送	9 0 2																											
【11-11-05】	不在着信転送設定	9 0 5																											
【11-11-08】	着信拒否設定	9 0 8																											
【11-11-17】	機能ボタン設定（一般）	9 1 7																											
【11-11-20】	着信音色切り換え	9 2 0																											
【11-11-22】	内線名称入力	9 2 2																											
【11-11-34】	発信規制一時解除	9 3 4																											
備考／メモ	●上記以外のプログラム番号【11-11-□□】は未使用となりますので、変更しないでください。																												

プログラム番号	1 1 - 1 2 - □ □																															
プログラム名称	サービス特番 3 設定																															
説明	サービス特番（各種機能を実行するときに多機能電話機でダイヤルする番号）を設定します。 システムには複数のサービス特番があり、ここでの設定とプログラム番号【11-10-□□】【11-11-□□】【11-18-□□】での設定との重複設定はできません。																															
入力データ	0～9、#（最大8桁）																															
初期値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム番号</th> <th>機能</th> <th>ダイヤル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【11-12-10】</td> <td>共通・個別短縮ダイヤル発信</td> <td>8 1 0</td> </tr> <tr> <td>【11-12-11】</td> <td>グループ短縮ダイヤル発信</td> <td>8 1 1</td> </tr> <tr> <td>【11-12-12】</td> <td>再ダイヤル発信</td> <td>8 1 2</td> </tr> <tr> <td>【11-12-13】</td> <td>セーブドナンバーリダイヤル</td> <td>8 1 3</td> </tr> <tr> <td>【11-12-17】</td> <td>再ダイヤル消去</td> <td>8 1 7</td> </tr> <tr> <td>【11-12-18】</td> <td>セーブドナンバーリダイヤル消去</td> <td>8 1 8</td> </tr> <tr> <td>【11-12-20】</td> <td>放送</td> <td>8 2 0</td> </tr> <tr> <td>【11-12-22】</td> <td>放送応答</td> <td>8 2 2</td> </tr> <tr> <td>【11-12-42】</td> <td>フッキング</td> <td>8 4 2</td> </tr> </tbody> </table>		プログラム番号	機能	ダイヤル	【11-12-10】	共通・個別短縮ダイヤル発信	8 1 0	【11-12-11】	グループ短縮ダイヤル発信	8 1 1	【11-12-12】	再ダイヤル発信	8 1 2	【11-12-13】	セーブドナンバーリダイヤル	8 1 3	【11-12-17】	再ダイヤル消去	8 1 7	【11-12-18】	セーブドナンバーリダイヤル消去	8 1 8	【11-12-20】	放送	8 2 0	【11-12-22】	放送応答	8 2 2	【11-12-42】	フッキング	8 4 2
プログラム番号	機能	ダイヤル																														
【11-12-10】	共通・個別短縮ダイヤル発信	8 1 0																														
【11-12-11】	グループ短縮ダイヤル発信	8 1 1																														
【11-12-12】	再ダイヤル発信	8 1 2																														
【11-12-13】	セーブドナンバーリダイヤル	8 1 3																														
【11-12-17】	再ダイヤル消去	8 1 7																														
【11-12-18】	セーブドナンバーリダイヤル消去	8 1 8																														
【11-12-20】	放送	8 2 0																														
【11-12-22】	放送応答	8 2 2																														
【11-12-42】	フッキング	8 4 2																														
備考／メモ	●上記以外のプログラム番号【11-12-□□】は未使用となりますので、変更しないでください。																															

プログラム番号	1 1 - 1 8 - □ □										
プログラム名称	サービス特番 4 設定										
説明	サービス特番（各種機能を実行するときに多機能電話機でダイヤルする番号）を設定します。 システムには複数のサービス特番があり、ここでの設定とプログラム番号【11-10-□□】【11-11-□□】【11-12-□□】での設定との重複設定はできません。										
入力データ	0～9、#（最大8桁）										
初期値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム番号</th> <th>機能</th> <th>ダイヤル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【11-18-01】</td> <td>グループ通話アクセス</td> <td>8 5 8</td> </tr> <tr> <td>【11-18-02】</td> <td>グループ通話外線の強制切断</td> <td>8 5 9</td> </tr> </tbody> </table>		プログラム番号	機能	ダイヤル	【11-18-01】	グループ通話アクセス	8 5 8	【11-18-02】	グループ通話外線の強制切断	8 5 9
プログラム番号	機能	ダイヤル									
【11-18-01】	グループ通話アクセス	8 5 8									
【11-18-02】	グループ通話外線の強制切断	8 5 9									
備考／メモ	●上記以外のプログラム番号【11-18-□□】は未使用となりますので、変更しないでください。										

プログラム番号	14-01-01	
プログラム名称	外線名称設定	
説明	各外線の名称を設定します。	
入力データ	カタカナ、英数字（最大 12 文字）	
初期値	<div> <div>外線 1</div> <div>名称「LINE 001」</div> </div> <div> <div>外線 2</div> <div>名称「LINE 002」</div> </div> <div> <div>:</div> <div>:</div> </div> <div> <div>外線 200</div> <div>名称「LINE 200」</div> </div>	
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p> <div>  <p>外線ポート番号</p> </div> <p>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：外線ポート番号を戻す</p> <p>▼：外線ポート番号を進める</p>	

プログラム番号

14-02-□□

プログラム名称

外線の基本設定

説明

各外線の基本設定をします。

入力データ

プログラム番号	項目	設定値
【14-02-01】	DP/PB	0 : DP(10PPS) 1 : DP(20PPS) 2 : PB
【14-02-02】	着信タイプ	0 : 通常着信 1 : 即時着信
【14-02-04】	フックボタン動作	0 : フッキング 1 : 切断再捕捉
【14-02-05】	マニュアルダイヤル時の外線捕捉直後の DTD	0 : DTD 不使用 1 : DTD 使用
【14-02-06】	マニュアルダイヤル時の外線捕捉直後のポーズ	0 : ポーズしない 1 : ポーズする
【14-02-07】	DP→PB の変更タイミング設定	0 : 自動 1 : 自動と手動 2 : 手動
【14-02-08】	相手応答条件	0 : 極性反転の検出で判別 1 : 極性反転または桁間タイマーのいずれか先に検出できた方で判別
【14-02-09】	ビジートーン検出	0 : しない 1 : する
【14-02-10】	発信者番号通知機能	0 : しない (未契約) 1 : する (契約)
【14-02-15】	給電検出の有無	0 : 給電検出なし 1 : 給電検出あり

●各外線とも下線側が初期値です。

●上記以外のプログラム番号【14-02-□□】は未使用となりますので、変更しないでください。

●プログラム画面説明

14-02-01

DP/PB

← - + →

ガイセン 1

1:20PPS

外線ポート番号

・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。

▲ : 外線ポート番号を戻す

▼ : 外線ポート番号を進める

・プログラム番号の小項目を切り換えるには

応答ボタンを押すと、以下の画面になります。

ここで、ソフトキー「↑」「↓」押すと、プログラム番号が切り換わりますので、希望のプログラム番号のところでソフトキー「センタク」を押すと、そのプログラムに入ります。

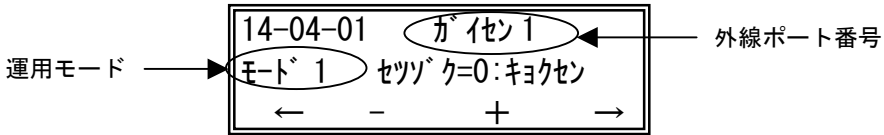
14-02-01

DP/PB

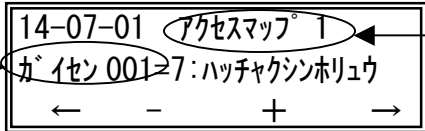
モデル ↑ ↓ センタク

ガイセン 1

1:20PPS

プログラム番号	14-04-01	
プログラム名称	外線の接続形態設定	
説明	各外線の接続形態を設定します。	
入力データ	0 : 公衆回線に直接接続 1 : 上位に他 PBX 交換機	
初期値	各外線の全運用モードとも 0 (公衆回線に直接接続)。	
備考／メモ	<p>●入力データは上記以外は設定しないでください。</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  <p>運用モード →</p> <p>外線ポート番号 ←</p> </div> <p>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲ : 外線ポート番号を戻す</p> <p>▼ : 外線ポート番号を進める</p> <p>・運用モードを切り換えるには、<b>転送</b>ボタンを押します。</p>	




プログラム番号	14-07-01	
プログラム名称	外線のアクセスマップ設定	
説明	各外線のアクセスマップを設定します。	
入力データ	0 = 指定なし 1 = 発信のみ 2 = 着信応答のみ 3 = 保留応答のみ 4 = 発信と保留応答 5 = 着信応答と保留応答 6 = 着信応答と発信 7 = 発信、着信応答、保留応答	
初期値	アクセスマップ1の全外線=7 それ以外のアクセスマップの全外線=0	
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>外線ポート番号 → 14-07-01      アクセスマップ番号 ← アクセスマップ1</p> <p>ガイセン 001      7:ハッチャクシンホリユウ</p> <p>←   -   +   →</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセスマップ番号を切り換えるには 音量ボタンを押すとアクセスマップ番号が切り換わります。 ▲：アクセスマップ番号を戻す ▼：アクセスマップ番号を進める</li> <li>・外線ポート番号を切り換えるには ソフトキー「←」「→」でダイヤル選択にカーソルを移動させ、「-」「+」を押すと外線ポート番号が切り換わります。</li> </ul>	

プログラム番号	15-01-01	
プログラム名称	内線名称設定	
説明	各内戦の名称を設定します。	
入力データ	カタカナ、英数字（最大 12 文字）	
初期値	未設定	
備考／メモ	<p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div data-bbox="541 1151 1131 1283" data-label="Image"> <p>The screenshot shows a rectangular display area. Inside, the text '15-01-01' is on the top left, followed by 'TEL100' which is enclosed in an oval. Below this, the text 'ナイセンメイショウ =' is displayed. At the bottom of the display area, there are two arrows: a left-pointing arrow on the left and a right-pointing arrow on the right. An external arrow points from the text '内線番号' to the 'TEL100' field.</p> </div> <p>・内線番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。  ▲：内線番号を戻す  ▼：内線番号を進める</p>	

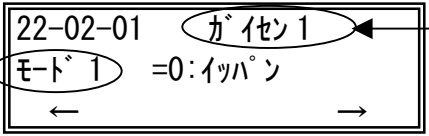
プログラム番号	15-04-01	
プログラム名称	子機の PSID 確認	
説明	子機の内線番号を指定すると、PSID が確認できます。	
入力データ		
初期値		
備考／メモ	<p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div data-bbox="542 1153 1136 1285" data-label="Image"> </div> <p>・内線番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。  ▲：内線番号を戻す  ▼：内線番号を進める</p>	

プログラム番号		15-07-01																																																																					
プログラム名称		端末のファンクションボタン設定																																																																					
説明	多機能電話機、インカム端末などのファンクションボタンの機能を設定します。																																																																						
入力データ	<table><thead><tr><th>機能</th><th>機能番号</th><th>付加データ</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>機能なし</td><td>00</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>ワンタッチボタン</td><td>01</td><td>最大24桁の番号</td><td></td></tr><tr><td>多機能電話機内蔵マイク ON/OFF</td><td>02</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>多機能電話機ヘッドセットモード ON/OFF</td><td>05</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>共通・個別短縮ダイヤル</td><td>27</td><td>短縮番号</td><td></td></tr><tr><td>グループ短縮ダイヤル</td><td>28</td><td>短縮番号</td><td></td></tr><tr><td>多機能電話機の送話カット ON/OFF</td><td>40</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>外線ボタン</td><td>*01</td><td>外線ポート番号</td><td></td></tr><tr><td>インカムグループ通話ボタン</td><td>*20</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>インカム一斉連絡ボタン</td><td>*21</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>インカム個別呼出ボタン</td><td>*22</td><td>呼出し番号（1～2）</td><td>（注1）</td></tr><tr><td>インカム放送ボタン</td><td>*23</td><td>放送番号（1～2）</td><td>（注2）</td></tr><tr><td>インカム応答ボタン</td><td>*24</td><td>なし</td><td></td></tr><tr><td>インカム通話モニターボタン</td><td>*25</td><td>通話グループ番号（1～8）</td><td></td></tr><tr><td>インカムグループ切替ボタン</td><td>*26</td><td>切り換え番号（1～2）</td><td>（注3）</td></tr><tr><td>インカムグループ通話外線強制切断ボタン</td><td>*27</td><td>通話グループ番号（0～8）</td><td>（注4）</td></tr></tbody></table> <p>（注1）呼び出し先はプログラム番号【48-03-□□】で設定します。 （注2）放送先はプログラム番号【48-03-□□】で設定します。 （注3）切り換え先はプログラム番号【48-03-□□】で設定します。 （注4）付加データは切断するグループを設定します。0の場合は全グループ切断となります。</p>			機能	機能番号	付加データ	備考	機能なし	00	なし		ワンタッチボタン	01	最大24桁の番号		多機能電話機内蔵マイク ON/OFF	02	なし		多機能電話機ヘッドセットモード ON/OFF	05	なし		共通・個別短縮ダイヤル	27	短縮番号		グループ短縮ダイヤル	28	短縮番号		多機能電話機の送話カット ON/OFF	40	なし		外線ボタン	*01	外線ポート番号		インカムグループ通話ボタン	*20	なし		インカム一斉連絡ボタン	*21	なし		インカム個別呼出ボタン	*22	呼出し番号（1～2）	（注1）	インカム放送ボタン	*23	放送番号（1～2）	（注2）	インカム応答ボタン	*24	なし		インカム通話モニターボタン	*25	通話グループ番号（1～8）		インカムグループ切替ボタン	*26	切り換え番号（1～2）	（注3）	インカムグループ通話外線強制切断ボタン	*27	通話グループ番号（0～8）	（注4）
機能	機能番号	付加データ	備考																																																																				
機能なし	00	なし																																																																					
ワンタッチボタン	01	最大24桁の番号																																																																					
多機能電話機内蔵マイク ON/OFF	02	なし																																																																					
多機能電話機ヘッドセットモード ON/OFF	05	なし																																																																					
共通・個別短縮ダイヤル	27	短縮番号																																																																					
グループ短縮ダイヤル	28	短縮番号																																																																					
多機能電話機の送話カット ON/OFF	40	なし																																																																					
外線ボタン	*01	外線ポート番号																																																																					
インカムグループ通話ボタン	*20	なし																																																																					
インカム一斉連絡ボタン	*21	なし																																																																					
インカム個別呼出ボタン	*22	呼出し番号（1～2）	（注1）																																																																				
インカム放送ボタン	*23	放送番号（1～2）	（注2）																																																																				
インカム応答ボタン	*24	なし																																																																					
インカム通話モニターボタン	*25	通話グループ番号（1～8）																																																																					
インカムグループ切替ボタン	*26	切り換え番号（1～2）	（注3）																																																																				
インカムグループ通話外線強制切断ボタン	*27	通話グループ番号（0～8）	（注4）																																																																				
初期値	<p>●端末をプログラム番号【48-03-□□】で通話グループのメンバーに登録している場合は、プログラム番号【48-03-□□】を参照してください。 ●多機能電話機で通話グループのメンバーに登録していない場合は、ファンクションボタン1～8は外線ポート番号1～8です。</p>																																																																						
備考／メモ	<p>●1台の電話機には同一機能を重複してファンクションボタンに設定できません。ただし、付加データが異なる場合は設定できます。</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div><div>ファンクションボタン番号</div><div><div>15-07-01</div><div>TEL100</div><div>*01⇒*01</div><div>← -1 +1 →</div></div><div>内線番号</div></div> <p>・内線番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。 ▲：内線番号を戻す ▼：内線番号を進める</p> <p>・ファンクションボタン番号を切り換えるには ソフトキー「←」「→」でファンクションボタン番号にカーソルを移動させ、「-」「+」を押すとファンクションボタン番号が切り換わります。</p>																																																																						

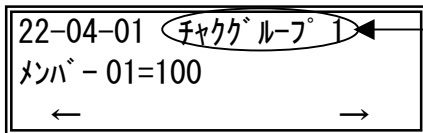
プログラム番号	20-22-□□	
プログラム名称	PHS 関連タイマー設定	
説明	【20-22-01】 使用しません。 【20-22-04】 ハンドオーバー処理完了までの最大待ち時間を設定します。 【20-22-05】 PS 圏外判定時間を設定します。 【20-22-06】 使用しません。	
入力データ	0～64800（秒）	
初期値	【20-22-04】 10 秒 【20-22-05】 8 秒	
備考／メモ		

プログラム番号	21-04-01	
プログラム名称	内線の発信規制クラス設定	
説明	各電話機の発信規制クラスを設定します。	
入力データ	1～15	
初期値	各内線の各運用モードとも2。	
備考／メモ	<p>●各内線番号の運用モード毎に、プログラム番号【21-05-□□】で設定した発信規制クラスを設定します。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="text-align: center;">  <p style="position: absolute; left: 238px; top: 575px;">運用モード →</p> <p style="position: absolute; left: 670px; top: 550px;">内線番号</p> </div> <p>・内線番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。  ▲：内線番号を戻す  ▼：内線番号を進める</p> <p>・運用モードを切り換えるには、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">転送</span>ボタンを押します。</p>	

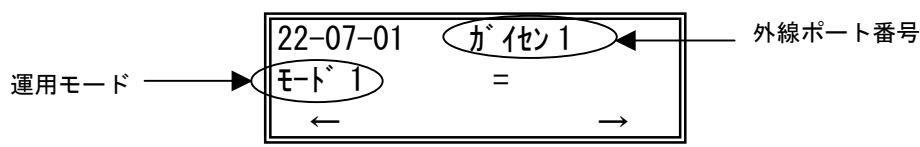
プログラム番号		21-05-□□																																																																																																																																																																																																																																													
プログラム名称		発信規制クラス設定																																																																																																																																																																																																																																													
説明		発信規制クラスを設定します。																																																																																																																																																																																																																																													
入力データ		<table><tr><td>プログラム番号</td><td colspan="10">項目</td><td colspan="4">設定値</td></tr><tr><td>【21-05-01】</td><td colspan="10">国際発信規制</td><td colspan="4">0=無効、1=有効</td></tr><tr><td>【21-05-02】</td><td colspan="10">国際発信許可</td><td colspan="4">0=無効、1=有効</td></tr><tr><td>【21-05-03】</td><td colspan="10">市外発信規制</td><td colspan="4">0=規制しない、1=規制する</td></tr><tr><td>【21-05-04】</td><td colspan="10">最大ダイヤル桁数</td><td colspan="4">0=無効、1~4=テーブル</td></tr><tr><td>【21-05-05】</td><td colspan="10">共通許可</td><td colspan="4">0=無効、1=有効</td></tr><tr><td>【21-05-06】</td><td colspan="10">共通規制</td><td colspan="4">0=無効、1=有効</td></tr><tr><td>【21-05-07】</td><td colspan="10">許可</td><td colspan="4">0=無効、1~4=テーブル</td></tr><tr><td>【21-05-08】</td><td colspan="10">規制</td><td colspan="4">0=無効、1~4=テーブル</td></tr><tr><td>【21-05-09】</td><td colspan="10">共通短縮ダイヤル発信</td><td colspan="4">0=規制しない、1=規制チェックに従う</td></tr><tr><td>【21-05-10】</td><td colspan="10">グループ短縮ダイヤル発信</td><td colspan="4">0=規制しない、1=規制チェックに従う</td></tr><tr><td>【21-05-11】</td><td colspan="10">内線相互通話</td><td colspan="4">0=無効、1=有効</td></tr><tr><td>【21-05-12】</td><td colspan="10">PBX 内発信規制</td><td colspan="4">0=無効、1=有効</td></tr><tr><td>【21-05-13】</td><td colspan="10">専用線発信規制</td><td colspan="4">0=無効、1=有効</td></tr></table>														プログラム番号	項目										設定値				【21-05-01】	国際発信規制										0=無効、1=有効				【21-05-02】	国際発信許可										0=無効、1=有効				【21-05-03】	市外発信規制										0=規制しない、1=規制する				【21-05-04】	最大ダイヤル桁数										0=無効、1~4=テーブル				【21-05-05】	共通許可										0=無効、1=有効				【21-05-06】	共通規制										0=無効、1=有効				【21-05-07】	許可										0=無効、1~4=テーブル				【21-05-08】	規制										0=無効、1~4=テーブル				【21-05-09】	共通短縮ダイヤル発信										0=規制しない、1=規制チェックに従う				【21-05-10】	グループ短縮ダイヤル発信										0=規制しない、1=規制チェックに従う				【21-05-11】	内線相互通話										0=無効、1=有効				【21-05-12】	PBX 内発信規制										0=無効、1=有効				【21-05-13】	専用線発信規制										0=無効、1=有効																	
プログラム番号	項目										設定値																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-01】	国際発信規制										0=無効、1=有効																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-02】	国際発信許可										0=無効、1=有効																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-03】	市外発信規制										0=規制しない、1=規制する																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-04】	最大ダイヤル桁数										0=無効、1~4=テーブル																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-05】	共通許可										0=無効、1=有効																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-06】	共通規制										0=無効、1=有効																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-07】	許可										0=無効、1~4=テーブル																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-08】	規制										0=無効、1~4=テーブル																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-09】	共通短縮ダイヤル発信										0=規制しない、1=規制チェックに従う																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-10】	グループ短縮ダイヤル発信										0=規制しない、1=規制チェックに従う																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-11】	内線相互通話										0=無効、1=有効																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-12】	PBX 内発信規制										0=無効、1=有効																																																																																																																																																																																																																																				
【21-05-13】	専用線発信規制										0=無効、1=有効																																																																																																																																																																																																																																				
初期値		<table><tr><td>プログラム番号</td><td colspan="15">発信規制クラス番号</td></tr><tr><td>【21-05-01】</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr><tr><td>【21-05-02】</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-03】</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-04】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-05】</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-06】</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-07】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-08】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-09】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-10】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-11】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-12】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>【21-05-13】</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>														プログラム番号	発信規制クラス番号															【21-05-01】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	【21-05-02】	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-03】	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-04】	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-05】	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-06】	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-07】	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-08】	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-09】	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-10】	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-11】	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-12】	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	【21-05-13】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プログラム番号	発信規制クラス番号																																																																																																																																																																																																																																														
【21-05-01】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-02】	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-03】	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-04】	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-05】	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-06】	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-07】	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-08】	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-09】	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-10】	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-11】	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-12】	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																
【21-05-13】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																
備考／メモ		<div><div><div>21-05-01</div><div>キセイクラス 1</div><div>コクサイハッシン</div><div>キセイテーブル</div><div>0:ムコウ</div><div>←</div><div>-1</div><div>+1</div><div>→</div></div><div>発信規制クラス番号</div></div> <p>・発信規制クラス番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：発信規制クラス番号を戻す</p> <p>▼：発信規制クラス番号を進める</p>																																																																																																																																																																																																																																													

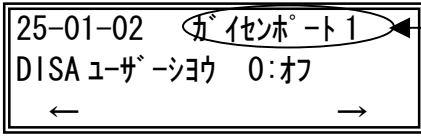
プログラム番号	22-02-01	
プログラム名称	外線の運用形態設定	
説明	各外線の運用形態を設定する。	
入力データ	0 = 一般着信 1 = DID 2 = DISA 3 = 使用しません 4 = DIL 5 = 使用しません 6 = 使用しません	
初期値	各外線の全運用モードとも 0 (一般着信)。	
備考／メモ	<p>●各内線番号の運用モード毎に、プログラム番号【21-05-□□】で設定した発信規制クラスを設定します。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>運用モード →</p> <p>←</p> <p>→</p> <p>外線ポート番号 ←</p> <p>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。  ▲：外線ポート番号を戻す  ▼：外線ポート番号を進める  ・運用モードを切り換えるには、<span style="border: 1px solid black;">転送</span>ボタンを押します。</p>	

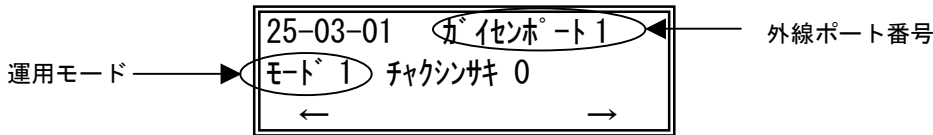


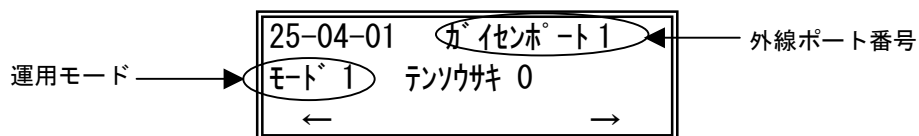
プログラム番号	22-04-01													
プログラム名称	外線の着信グループ設定													
説明	一般着信を設定した外線に着信したときの鳴動電話機を設定します。													
入力データ	内線番号（最大8桁）													
初期値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>着信グループ番号</th><th>着信鳴動グループメンバー番号</th><th>内線番号</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>01</td><td>100</td></tr> <tr> <td></td><td>02～32</td><td>未設定</td></tr> <tr> <td>2～100</td><td>01～32</td><td>未設定</td></tr> </tbody> </table>		着信グループ番号	着信鳴動グループメンバー番号	内線番号	1	01	100		02～32	未設定	2～100	01～32	未設定
着信グループ番号	着信鳴動グループメンバー番号	内線番号												
1	01	100												
	02～32	未設定												
2～100	01～32	未設定												
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>・着信グループ番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：着信グループ番号を戻す</p> <p>▼：着信グループ番号を進める</p>													

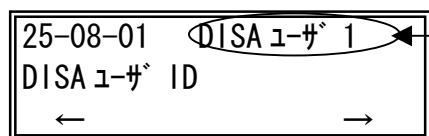
プログラム番号	22-05-01	
プログラム名称	外線の一般着信先設定	
説明	一般着信を設定した外線の着信先を設定します。	
入力データ	0 : 未設定 1 ~ 100 : 着信グループ	
初期値	各外線の全運用モードとも1(着信グループ1)。	
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。  ▲：外線ポート番号を戻す  ▼：外線ポート番号を進める</p> <p>・運用モードを切り換えるには、<span style="border: 1px solid black;">転送</span>ボタンを押します。</p>	

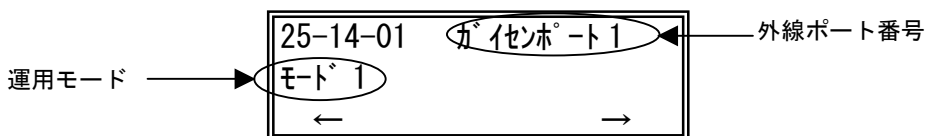
プログラム番号	22-07-01	
プログラム名称	DIL 着信の着信先設定	
説明	DIL 着信の着信先の内線番号を設定します。	
入力データ	内線番号（最大8桁）	
初期値	未設定	
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p>  <p>運用モード →</p> <p>外線ポート番号 ←</p> <p>22-07-01    外線1 モード1    =</p> <p>・ 外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。  ▲：外線ポート番号を戻す  ▼：外線ポート番号を進める  ・ 運用モードを切り換えるには、<span style="border: 1px solid black;">転送</span>ボタンを押します。</p>	

プログラム番号	25-01-02	
プログラム名称	DISA ユーザーID 使用可否設定	
説明	DISA サービスを利用するとき、毎回ユーザーID を入力させるかどうかを設定します。	
入力データ	0=しない 1=する	
初期値	各外線ポート番号とも0（しない）	
備考／メモ	<p>●毎回入力させる場合には「1」を設定します。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="text-align: center;">  <p>外線ポート番号</p> </div> <p>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：外線ポート番号を戻す ▼：外線ポート番号を進める</p>	

プログラム番号	25-03-01	
プログラム名称	DID/DISA 誤ダイヤル時の着信先設定	
説明	DID/DISA 機能で、発呼者からの追加ダイヤルが来ない、または番号が間違っている場合の着信先を設定します。	
入力データ	0=切断 1~100=着信グループ	
初期値	各外線の全運用モードとも0(切断)。	
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  <p>運用モード →</p> <p>外線ポート番号</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▲：外線ポート番号を戻す</li> <li>▼：外線ポート番号を進める</li> </ul> </li> <li>・運用モードを切り換えるには、<span style="border: 1px solid black;">転送</span>ボタンを押します。</li> </ul>	

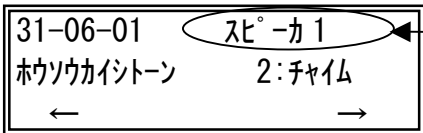
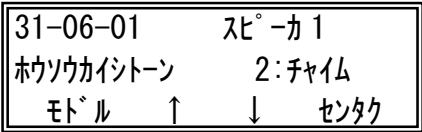
プログラム番号	25-04-01	
プログラム名称	DID/DISA 未応答・話中時の着信先設定	
説明	DID/DISA 機能で、発呼者からの追加ダイヤルによる着信先が応答しない、または話中の場合の転送先を設定します。	
入力データ	0=切断 1～100=着信グループ	
初期値	各外線の全運用モードとも0(切断)。	
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p>  <p>運用モード →</p> <p>外線ポート番号 →</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▲：外線ポート番号を戻す</li> <li>▼：外線ポート番号を進める</li> </ul> </li> <li>・運用モードを切り換えるには、<span style="border: 1px solid black;">転送</span>ボタンを押します。</li> </ul>	

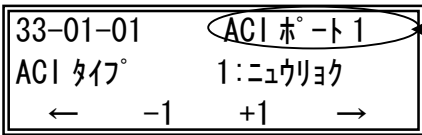
プログラム番号	25-08-01	
プログラム名称	DISA のユーザーID 設定	
説明	DISA 機能で、発呼者が本システムを利用する前にダイヤルするユーザーID（パスワード）を設定します。	
入力データ	0～9、#（6桁固定）	
初期値	未設定	
備考／メモ	<p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div data-bbox="576 1256 1294 1391">  </div> <p>・ DISA ユーザー番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：DISA ユーザー番号を戻す</p> <p>▼：DISA ユーザー番号を進める</p>	

プログラム番号	25-14-01	
プログラム名称	DID/DISA の自動ダイヤル設定	
説明	DID 着信応答後、DISA 着信パスワード受信後に自動ダイヤルする番号を設定します。	
入力データ	ダイヤル番号（最大24桁）	
初期値	未設定	
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p>  <p>運用モード →</p> <p>外線ポート番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▲：外線ポート番号を戻す</li> <li>▼：外線ポート番号を進める</li> </ul> </li> <li>・運用モードを切り換えるには、<span style="border: 1px solid black;">転送</span>ボタンを押します。</li> </ul>	



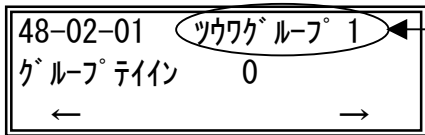
プログラム番号		31-04-01	
プログラム名称		外部スピーカーの放送グループ設定	
説明	外部スピーカーを個別に呼び出すために、放送グループ番号を設定します。		
入力データ	0 = 未設定 1 ~ 8 = 放送グループ番号		
初期値	スピーカー番号 1 = 放送グループ番号 1 スピーカー番号 2 = 放送グループ番号 2 スピーカー番号 3 = 放送グループ番号 3 スピーカー番号 4 = 放送グループ番号 4 スピーカー番号 5 = 放送グループ番号 5 スピーカー番号 6 = 放送グループ番号 6 スピーカー番号 7 = 放送グループ番号 7 スピーカー番号 8 = 放送グループ番号 8 スピーカー番号 9 = 放送グループ番号 1		
備考／メモ	<p>●スピーカー番号とは、放送入出力ユニット（放送）の論理ポート番号です。（プログラム番号【10-03-□□】で確認できます）</p> <p>●スピーカー番号 9 は使用しません。</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>・スピーカー番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：スピーカー番号を戻す</p> <p>▼：スピーカー番号を進める</p>		

プログラム番号	3 1 - 0 6 - □ □	
プログラム名称	外部スピーカーの制御情報設定	
説明	<p>【31-06-01】 構内放送の際、放送開始音を鳴らすかどうかを設定します。</p> <p>【31-06-02】 構内放送の際、放送終了音を鳴らすかどうかを設定します。</p> <p>【31-06-03】 使用しません。</p> <p>【31-06-04】 構内放送の際の送話音量を設定します。</p> <p>【31-06-05】 使用しません。</p>	
入力データ	<p>【31-06-01】 0 = トーンなし、1 = スプラッシュトーン、2 = チャイム（ドミソド）</p> <p>【31-06-02】 0 = トーンなし、1 = スプラッシュトーン、2 = チャイム（ドミソド）</p> <p>【31-06-04】 1 = 1 5 . 5 dB ~ 3 1 = - 0 . 5 dB 3 2 = 0 dB 3 3 = + 0 . 5 dB ~ 6 3 = + 1 5 . 5 dB</p>	
初期値	<p>【31-06-01】 全スピーカー = 0（トーンなし）</p> <p>【31-06-02】 全スピーカー = 0（トーンなし）</p> <p>【31-06-04】 全スピーカー = 3 2（0 dB）</p>	
備考／メモ	<p>●スピーカー番号とは、放送出力ユニット（放送）の論理ポート番号です。（プログラム番号【10-03-□□】で確認できます）</p> <p>●スピーカー番号9は使用しません。</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>・スピーカー番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：スピーカー番号を戻す</p> <p>▼：スピーカー番号を進める</p> <p>・プログラム番号の小項目を切り換えるには</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">応答</span>ボタンを押すと、以下の画面になります。</p> <p>ここで、ソフトキー「↑」「↓」押すと、プログラム番号が切り換わりますので、希望のプログラム番号のところでソフトキー「センタク」を押すと、そのプログラムに入ります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	

プログラム番号	33-01-01	
プログラム名称	放送入出力ユニットの入出力タイプ設定	
説明	放送入出力ユニット（グループ通話参加）の各ポートの入出力タイプを設定します。	
入力データ	0 = 未設定 1 = 入力 2 = 出力	
初期値	全ポート = 1（入力）	
備考／メモ	<p>●ポートとは、放送入出力ユニット（グループ通話参加）の論理ポートです。（プログラム番号【10-03-□□】で確認できます）</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>放送入出力ユニットのポート番号</p> <p>・放送入出力ユニットのポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：放送入出力ユニットのポート番号を戻す</p> <p>▼：放送入出力ユニットのポート番号を進める</p>	

プログラム番号	33-03-01	
プログラム名称	放送入出力ユニットのインカム通話グループ複数接続先設定	
説明	放送入出力ユニット（グループ通話参加）の各ポートを複数の通話グループに接続する場合の接続先を設定します。	
入力データ	0 = 接続しない 1 ~ 8 = 通話グループ番号	
初期値	全ポート = 0（接続しない）	
備考／メモ	<p>●ポートとは、放送入出力ユニット（グループ通話参加）の論理ポートです。（プログラム番号【10-03-□□】で確認できます）</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> 33-03-01    ACIポート1  セツゾクサキグループ 1    0:シナイ  ←    -1    +1    → </div> <div style="margin-left: 10px;"> ← 放送入出力ユニットのポート番号 </div> </div> <p>・放送入出力ユニットのポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：放送入出力ユニットのポート番号を戻す</p> <p>▼：放送入出力ユニットのポート番号を進める</p>	

プログラム番号	48-01-□□	
プログラム名称	インカムシステム機能設定	
説明	<p>インカムのシステム機能の設定をします。</p> <p>【48-01-01】1対1通話時に個別グループを使用するか、しないかを設定します。</p> <p>【48-01-02】外線が一斉連絡を起動したときの、プログラム番号【48-01-03】で設定する「インカムグループ通話状態強制復帰タイマ」の有効／無効を設定します。</p> <p>【48-01-03】インカムグループ通話状態強制復帰タイマを設定します。</p> <p>【48-01-04】インカム個別呼出し（受信側）音間隔を設定します。</p> <p>【48-01-05】インカム個別呼出し（起動側）音間隔を設定します。</p> <p>【48-01-06】インカムグループ通話外線強制切断タイマを設定します。</p> <p>【48-01-07】システムに收容する PHS 端末の音声品質制御を設定します。</p>	
入力データ	<p>【48-01-01】0＝使用しない、1＝使用する</p> <p>【48-01-02】0＝無効、1＝有効</p> <p>【48-01-03】0～64800（秒）</p> <p>【48-01-04】0～64800（秒）</p> <p>【48-01-05】0～64800（秒）</p> <p>【48-01-06】0～64800（秒）</p> <p>【48-01-07】1＝CRC エラー時音声品質制御処理使用、1＝CRC エラー時無音処理使用</p>	
初期値	<p>【48-01-01】0（使用しない）</p> <p>【48-01-02】1（有効）</p> <p>【48-01-03】60（秒）</p> <p>【48-01-04】2（秒）</p> <p>【48-01-05】2（秒）</p> <p>【48-01-06】60（秒）</p> <p>【48-01-07】1（CRC エラー時無音処理使用）</p>	
備考／メモ	<p>●通話グループに参加中のメンバーがある場合は、変更できません。すべての端末が通話グループから抜けてから行なってください。</p> <p>多機能電話機：内線電話モードにする</p> <p>子機：電源を切る</p> <p>放送入出力ユニット（グループ通話参加）：主装置から外す</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>48-01-01</p> <p>インカムコベツグループ 1:スル</p> <p>← -1 +1 →</p> </div> <p>・プログラム番号の小項目を切り換えるには</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">応答</span>ボタンを押すと、以下の画面になります。</p> <p>ここで、ソフトキー「↑」「↓」押すと、プログラム番号が切り換わりますので、希望のプログラム番号のところでソフトキー「センタク」を押すと、そのプログラムに入ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>48-01-01</p> <p>インカムコベツグループ 1:スル</p> <p>モデル ↑ ↓ センタク</p> </div>	

プログラム番号	48-02-01	
プログラム名称	インカムの通話グループ定員数設定	
説明	インカムの各通話グループの定員数を設定します。	
入力データ	0（通話グループを使用しない）、 4～62	
初期値	全通話グループとも0（通話グループを使用しない）。	
備考／メモ	<p>●各通話グループの定員数には、一斉連絡時に使用するリザーブチャンネルを1つ含んだ数を設定します。</p> <p>●各通話グループの定員数の合計が62を超える設定はできません。</p> <p>●通話グループに参加中のメンバーがある場合は、変更できません。すべての端末が通話グループから抜けてから行なってください。</p> <p>多機能電話機：内線電話モードにする</p> <p>子機：電源を切る</p> <p>放送入出力ユニット（グループ通話参加）：主装置から外す</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="text-align: center;">  <p>通話グループ番号</p> </div> <p>・通話グループ番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：番号を戻す</p> <p>▼：番号を進める</p>	

プログラム番号	48-03-□□	
プログラム名称	インカムの通話グループメンバー設定 (1/2)	
説明	<p>インカムの通話グループメンバーの登録、およびメンバー毎の各種設定を行います。  ただし、通話グループに参加中のメンバーの各種設定は変更できません。</p> <p>【48-03-01】メンバーとなる端末の内線番号を登録します。  【48-03-02】メンバーとなる端末の通話グループを設定します。  【48-03-03】放送入出力ユニット（グループ通話参加）の ch1 と ch2 をペアとして使用するか、しないかを設定します。  【48-03-04】個別呼出しボタン1を押下したときの呼出す相手先の内線番号を設定します。  【48-03-05】個別呼出しボタン2を押下したときの呼出す相手先の内線番号を設定します。  【48-03-06】メンバーとなる端末をインカム端末として使用するか、しないかを設定します。  【48-03-07】放送ボタン1を押下したときの出力先スピーカグループ番号を設定します。  【48-03-08】放送ボタン2を押下したときの出力先スピーカグループ番号を設定します。  【48-03-09】放送中の受話のタイプを設定します。  【48-03-10】グループ切換ボタン1を押下したときの切り換え先通話グループ番号を設定します。  【48-03-11】グループ切換ボタン2を押下したときの切り換え先通話グループ番号を設定します。</p>	
入力データ	<p>【48-03-01】内線番号（最大8桁）  【48-03-02】内線端末の場合：  0＝設定なし  1～8＝通話グループ番号  放送入出力ユニット（グループ通話参加）の場合：  0＝設定なし  1～8＝通話グループ番号  9＝複数の通話グループへ接続（音声入力のみ）</p> <p>【48-03-03】0＝使用しない、1＝使用する  【48-03-04】内線番号（最大8桁）  【48-03-05】内線番号（最大8桁）  【48-03-06】0＝使用しない、1＝使用する  【48-03-07】0＝全スピーカグループ、1～8＝スピーカグループ番号  【48-03-08】0＝全スピーカグループ、1～8＝スピーカグループ番号  【48-03-09】0＝無音、1＝グループ通話音声  【48-03-10】0＝設定なし、1～8＝通話グループ番号  【48-03-11】0＝設定なし、1～8＝通話グループ番号</p>	
初期値	<p>全メンバーとも以下のとおり。</p> <p>【48-03-01】設定なし  【48-03-02】0（設定なし）  【48-03-03】1（ペアで使用する）  【48-03-04】設定なし  【48-03-05】設定なし  【48-03-06】0（使用しない）  【48-03-07】0（全スピーカグループ）  【48-03-08】0（全スピーカグループ）  【48-03-09】0（無音）  【48-03-10】0（設定なし）  【48-03-11】0（設定なし）</p>	

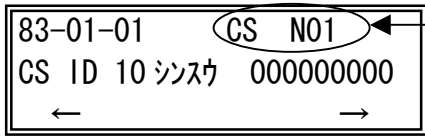
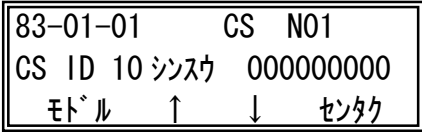
プログラム番号	48-03-□□	
プログラム名称	インカムの通話グループメンバー設定（2 / 2）	

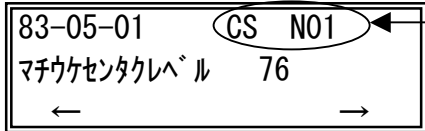
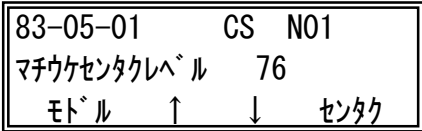
- 通話グループに参加中のメンバーの各種設定は変更できません。グループ通話を終了させてから行ってください。
- 放送入出力ユニット（グループ通話参加）をメンバー登録するためには、放送入出力ユニット（グループ通話参加）を主装置に接続してください。
- 【48-03-03】について
  - ①「ペア使用する」に設定した場合、同一の放送入出力ユニット（グループ通話参加）において対になるポートがすでに通話グループのメンバーとして登録されている場合でも、ペア使用となります。
  - ②「ペア使用する」に設定した場合、プログラム番号【33-01-01】の設定に関わらず、ペア使用する放送入出力ユニット（グループ通話参加）のch1が入力、ch2が出力になります。
- 【48-03-06】について
  - ①「インカム端末として使用する」に設定すると、ファンクションボタンの設定は以下の初期設定されます。  
ファンクションボタン1：グループ通話ボタン（グループ）  
ファンクションボタン2：一斉ボタン（一斉）  
ファンクションボタン3：個別1ボタン（個別1）  
ファンクションボタン4：機能なし  
ファンクションボタン5：機能なし  
ファンクションボタン6：応答ボタン（応答）  
ファンクションボタン7：機能なし  
ファンクションボタン8：機能なし
  - ②各メンバーのファンクションボタンの設定は、プログラム番号【15-07-01】で変更できます。  
ただし、インカム端末のファンクションボタン1は変更しないでください。
  - ③多機能電話のみファンクションボタン8までありますが、それ以外のインカム端末はファンクションボタン6までとなります。

●プログラム画面説明

48-03-01    インカムメンバ` 1  
ナイセンバンゴウ  
←



プログラム番号	83-01-□□	
プログラム名称	セルステーションのデータ設定	
説明	<p>各セルステーションの基本データの確認ができます。</p> <p>【83-01-01】CS-ID（10進数：29ビット分）を確認・削除できます。</p> <p>【83-01-02】CS-ID（16進）が確認できます。</p> <p>【83-01-03】使用しません。</p> <p>【83-01-04】使用しません。</p> <p>【83-01-05】使用しません。</p> <p>【83-01-06】CSを接続したCSIUボードが実装されているスロット番号と回路番号を確認できます。</p> <p>【83-01-07】使用しません。</p> <p>【83-01-08】使用しません。</p> <p>【83-01-09】CSのソフトウェアバージョンを確認できます。</p>	
入力データ	<p>【83-01-01】000000000~536870911（確認または削除のみできます）</p> <p>【83-01-02】0~1FFFFFFF（確認するのみで変更はできません）</p> <p>【83-01-06】スロット番号： 00=未接続、01~08=スロット番号（確認するのみで変更はできません）</p> <p>回路番号： 00=未接続、01~16=回路番号（確認するのみで変更はできません）</p> <p>【83-01-09】0.00=セルステーション非稼働、1.00~F.FF=CSのソフトウェアバージョン （確認するのみで変更はできません）</p>	
初期値	<p>全セルステーションとも以下のとおりです。</p> <p>【83-01-01】000000000</p> <p>【83-01-02】未設定</p> <p>【83-01-06】スロット番号=00、回路番号=00</p> <p>【83-01-09】0.00</p>	
備考／メモ	<p>●【83-01-01】について</p> <p>①削除する以外はデータ入力不可です。</p> <p>②保留ボタンにてデータを削除後、転送ボタンにて削除確定することで、削除できます。</p> <p>③マスタセルステーションのCSIDは、このプログラム番号では削除できません。プログラム番号【90-14-02】で削除できます。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="text-align: center;">  <p>セルステーション番号</p> </div> <p>・セルステーション番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：セルステーション番号を戻す</p> <p>▼：セルステーション番号を進める</p> <p>・プログラム番号の小項目を切り換えるには</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">応答</span>ボタンを押すと、以下の画面になります。</p> <p>ここで、ソフトキー「↑」「↓」押すと、プログラム番号が切り換わりますので、希望のプログラム番号のところでソフトキー「センタク」を押すと、そのプログラムに入ります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	

プログラム番号	8 3 - 0 5 - □ □
プログラム名称	セルステーションのエリア情報設定
説明	<p>各セルステーションのエリア情報の設定を行います。</p> <p>【83-05-01】待ち受け選択レベルを設定します。</p> <p>【83-05-02】待ち受け保持レベルを設定します。</p> <p>【83-05-03】ハンドオーバー処理レベルを設定します。</p> <p>【83-05-04】ハンドオーバー選択レベルを設定します。</p> <p>【83-05-05】TCH 切替型ハンドオーバーレベルを設定します。</p> <p>【83-05-06】チャンネル切替 FER を設定します。</p>
入力データ	<p>【83-05-01】 4 4 = 1 0 (dBuV) ~ 1 1 4 = 8 0 (dBuV)</p> <p>【83-05-02】 4 4 = 1 0 (dBuV) ~ 1 1 4 = 8 0 (dBuV)</p> <p>【83-05-03】 4 4 = 1 0 (dBuV) ~ 1 1 4 = 8 0 (dBuV)</p> <p>【83-05-04】 4 4 = 1 0 (dBuV) ~ 1 1 4 = 8 0 (dBuV)</p> <p>【83-05-05】 4 4 = 1 0 (dBuV) ~ 1 1 4 = 8 0 (dBuV)</p> <p>【83-05-06】 0 ~ 2 4 1 (スロット)</p>
初期値	<p>全セルステーションとも以下のとおりです。</p> <p>【83-05-01】 7 6 ( 4 2 dBuV)</p> <p>【83-05-02】 7 0 ( 3 6 dBuV)</p> <p>【83-05-03】 6 4 ( 3 0 dBuV)</p> <p>【83-05-04】 7 6 ( 4 2 dBuV)</p> <p>【83-05-05】 4 4 ( 1 0 dBuV)</p> <p>【83-05-06】 1 2 0 (スロット)</p>
備考／メモ	<p>●【83-05-01】～【83-05-01】のデータは、しきい値 (dBuV) に「3 4」を加えた値を設定します。</p> <p>●設定を変更するときは、子機を使用していない状態で行ってください。</p> <p>このプログラムの設定内容が各 CS に反映されるのは、プログラムモードから抜けた直後です。通話中の CS があった場合は、通話が終了し、CS が待機状態に戻った後に反映されます。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>セルステーション番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セルステーション番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▲：セルステーション番号を戻す</li> <li>▼：セルステーション番号を進める</li> </ul> </li> <li>プログラム番号の小項目を切り換えるには <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">           応答         </div>           ボタンを押すと、以下の画面になります。            ここで、ソフトキー「↑」「↓」押すと、プログラム番号が切り換わりますので、希望のプログラム番号のところでソフトキー「センタク」を押すと、そのプログラムに入ります。 </li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>

プログラム番号	83-08-□□
プログラム名称	セルステーションの付加 ID 割当て機能設定
説明	<p>セルステーションの付加IDの割当て機能の設定を行います。</p> <p>「付加ID連続割当て実行」を実行することによりセルステーションの付加IDを任意の開始付加IDから連続して割当てることが出来ます。</p> <p>【83-08-01】 付加 ID 割当ての重複設定可否を設定します。</p> <p>【83-08-02】 付加 ID の連続割当て実行モードを設定します。</p> <p>【83-08-03】 付加 ID の連続割当ての開始付加 ID を設定します。</p> <div> <p><b>ご注意</b></p> <p>このプログラム番号をご使用になるには、プログラムモードに入るときに特別なパスワードが必要です。ご使用になる場合には、サービス部門へお問い合わせください。</p> </div>
入力データ	<p>【83-08-01】 0 = 許可、1 = 禁止</p> <p>【83-08-02】 1 = プログラム番号【83-08-03】で設定する付加 ID から連番割当て 2 = プログラム番号【83-08-03】で設定する付加 ID から偶数番号割当て 3 = プログラム番号【83-08-03】で設定する付加 ID から奇数番号割当て</p> <p>【83-08-03】 1 ~ 2 5 5</p>
初期値	<p>【83-08-01】 1 (禁止)</p> <p>【83-08-02】 1 (プログラム番号【83-08-03】で設定する付加 ID から連番割当て)</p> <p>【83-08-03】 0</p>
備考／メモ	<p>●他システムで同一付加IDのセルステーションが隣接する場合に設定を行います。</p> <p>●開始付加IDが偶数で奇数番号割当てを実行した場合には、開始付加IDは自動的にプラス 1 され割付けを開始します。(開始付加IDを奇数で偶数番号割当てを実行の場合も同様に処理)</p> <p>●割当て開始付加 ID 番号から連続に割当てする方法において、割付ける付加 ID が 2 5 5 の次は 1 に戻ります。</p> <p>●重複設定を禁止してある場合は、プログラム番号【83-09-01】の設定ができない場合もあります。</p> <p>●<u>プログラム画面説明</u></p> <div> <p>83-08-01</p> <p>付加 ID 割当てモード 1: 設定</p> <p>← →</p> </div> <p>・プログラム番号の小項目を切り換えるには</p> <p><b>応答</b> ボタンを押すと、以下の画面になります。</p> <p>ここで、ソフトキー「↑」「↓」押すと、プログラム番号が切り換わりますので、希望のプログラム番号のところでソフトキー「センタク」を押すと、そのプログラムに入ります。</p> <div> <p>83-08-01</p> <p>付加 ID 割当てモード 1: 設定</p> <p>モデル ↑ ↓ センタク</p> </div>

プログラム番号	8 3 - 0 9 - 0 1																						
プログラム名称	セルステーションの付加 ID 設定																						
説明	各セルステーションの付加IDの設定を行います。																						
	<div><div><div>●</div><div>ご注意</div></div><div>このプログラム番号をご使用になるには、プログラムモードに入るときに特別なパスワードが必要です。ご使用になる場合には、サービス部門へお問い合わせください。</div></div>																						
入力データ	0 = セルステーション番号を付加 ID に設定します。 1 ~ 2 5 5 = 設定した番号を付加 ID に設定します。																						
初期値	セルステーション番号 1 = 1 9 3 を先頭に、奇数番号で連番に割当てられます。																						
	<table><tr><th>セルステーション番号</th><th>付加 ID</th></tr><tr><td>1</td><td>1 9 3</td></tr><tr><td>2</td><td>1 9 5</td></tr><tr><td>3</td><td>1 9 7</td></tr><tr><td>:</td><td>:</td></tr><tr><td>3 2</td><td>2 5 5</td></tr><tr><td>3 3</td><td>1</td></tr><tr><td>3 4</td><td>3</td></tr><tr><td>3 5</td><td>5</td></tr><tr><td>:</td><td>:</td></tr><tr><td>1 2 8</td><td>1 9 1</td></tr></table>		セルステーション番号	付加 ID	1	1 9 3	2	1 9 5	3	1 9 7	:	:	3 2	2 5 5	3 3	1	3 4	3	3 5	5	:	:	1 2 8
セルステーション番号	付加 ID																						
1	1 9 3																						
2	1 9 5																						
3	1 9 7																						
:	:																						
3 2	2 5 5																						
3 3	1																						
3 4	3																						
3 5	5																						
:	:																						
1 2 8	1 9 1																						
備考／メモ	●プログラム番号【83-09-□□】で重複設定を禁止してある場合は、設定ができない場合もあります。																						
	<div><div>●プログラム画面説明</div><div><div><div><div>83-09-01</div><div>CS N01</div><div>CS 7カ ID</div><div>193</div></div><div>←</div><div>→</div></div><div>セルステーション番号</div></div></div> <div>・セルステーション番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。 ▲：セルステーション番号を戻す ▼：セルステーション番号を進める</div>																						

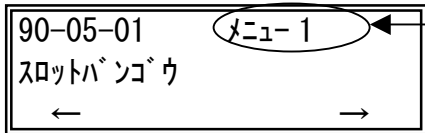
プログラム番号	83-10-01	
プログラム名称	仮想システム ID の設定	
説明	マスターセルステーション交換などの工事の際に、仮想的にシステム ID を設定します。	
入力データ	0～536870911	
初期値	0	
備考／メモ	<p>●交換するマスターセルステーション本体の底面に貼ってある CSID ラベルに印字されている 9 桁の番号を入力します。</p> <div data-bbox="497 1075 1099 1404" data-label="Image"> </div> <p>●保留ボタンにてデータを削除後、転送ボタンにて削除確定することで、削除できます。</p>	

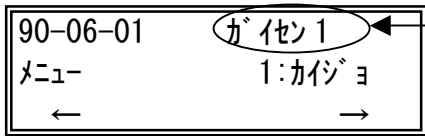
プログラム番号	90-01-□□	
プログラム名称	運用開始日設定	
説明	<p>本システムの運用開始日を設定します。</p> <p>【90-01-01】 運用開始日の西暦を設定します。</p> <p>【90-01-02】 運用開始日の月を設定します。</p> <p>【90-01-03】 運用開始日の日を設定します。</p>	
入力データ	<p>【90-01-01】 00～99（西暦の下2桁を入力します）</p> <p>【90-01-02】 01～12</p> <p>【90-01-03】 01～31</p>	
初期値	<p>【90-01-01】 0</p> <p>【90-01-02】 0</p> <p>【90-01-03】 0</p>	
備考／メモ		

プログラム番号	90-03-01	
プログラム名称	データセーブ	
説明	CPU ボード上の SRAM およびフラッシュメモリ上のプログラム設定内容を、CPU ボードに実装されたコンパクトフラッシュメモリーに保存します。	
入力データ	「1」を入力後、 <span>転送</span> ボタンを押下すると保存動作開始します。 （「1」を入力せず、 <span>転送</span> ボタンを押下するとキャンセルできます（次のプログラム番号に進みます））	
初期値		
備考／メモ	●データセーブには、約 1～2 分かかります。データセーブ中は、システムの動作が極端に遅くなりますので、システムの運用中は、データセーブを行わないでください。	

プログラム番号	90-04-01	
プログラム名称	データロード	
説明	CPU ボードに実装されたコンパクトフラッシュメモリーに保存されているプログラム設定内容を、CPU ボード上の SRAM およびフラッシュメモリ上に書込みます。	
入力データ	「1」を入力後、 <b>転送</b> ボタンを押下すると保存動作開始します。 （「1」を入力せず、 <b>転送</b> ボタンを押下するとキャンセルできます（次のプログラム番号に進みます））	
初期値		
備考／メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データロードには、約3分～5分かかります。データロード中は、システムの動作が極端に遅くなりますので、システムの運用中は、データロードを行わないでください。</li> <li>●データロード後は、必ずシステムリセットを行ってください。システムリセットを行わないと、システムが正常に動作しないことがあります。</li> </ul>	



プログラム番号	90-05-01	
プログラム名称	スロットコントロール	
説明	主装置に収容しているボードを削除・変更（ポートの設定内容をそのまま移動）する際に、該当スロットを削除またはリセットします。	
入力データ	メニュー番号：1＝削除、2＝リセット スロット番号：1～8	
初期値		
備考／メモ	<p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>・メニュー番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。  ▲：メニュー番号を戻す  ▼：メニュー番号を進める</p>	

プログラム番号	90-06-01	
プログラム名称	外線の閉塞	
説明	各外線を閉塞、または閉塞を解除します。 閉塞した外線は発着信できなくなります。	
入力データ	メニュー番号：0＝閉塞設定（セッテイ）、1＝閉塞解除（カイジョ）	
初期値	全外線ポートとも1（閉塞解除）	
備考／メモ	<p>●通話中の外線を0（閉塞設定）に設定しても、その通話を終了するまでは正常に動作します。</p> <p>●プログラム画面説明</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>・外線ポート番号を切り換えるには、音量ボタンを押します。</p> <p>▲：外線ポート番号を戻す</p> <p>▼：外線ポート番号を進める</p>	


プログラム番号	90-08-01	
プログラム名称	システムリセット	
説明	システムをリセットします。	
入力データ	「1」を入力後、 <span>転送</span> ボタンを押下するとシステムリセット動作開始します。 (「1」を入力せず、 <span>転送</span> ボタンを押下するとキャンセルできます(次のプログラム番号に進みます))	
初期値		
備考／メモ	●システムリセットには、約3分かかります。システムの運用中は、ご注意ください。	

プログラム番号		90-14-□□	
プログラム名称		PHS システム ID の参照・削除	
説明	システムにシステム ID として登録されているセルステーション番号と、そのセルステーションの接続先を確認できます。 【90-14-01】CS 番号を確認できます。 【90-14-02】CS-ID（10進数：29ビット分）を確認・削除できます。 【90-14-03】CS-ID（16進）が確認できます。 【90-14-04】CS のソフトウェアバージョンを確認できます。 【90-14-05】CS を接続した CSIU ボードが実装されているスロット番号と回路番号を確認できます。		
入力データ	【90-14-01】1～128（確認するのみで変更はできません） 【90-14-02】000000000～536870911（確認または削除のみできます） 【90-14-03】0～1FFFFFFF（確認するのみで変更はできません） 【90-14-04】0.00＝セルステーション非稼働、1.00～F.FF＝CS のソフトウェアバージョン（確認するのみで変更はできません） 【90-14-05】スロット番号： 00＝未接続、01～08＝スロット番号（確認するのみで変更はできません） 回路番号： 00＝未接続、01～16＝回路番号（確認するのみで変更はできません）		
初期値	全セルステーションとも以下のとおりです。 【90-14-01】未設定 【90-14-02】未設定 【90-14-03】未設定 【90-14-04】0.00 【90-14-05】スロット番号＝00、回路番号＝00		
備考／メモ	<div>●【90-14-02】について</div> <div>①削除する以外はデータ入力不可です。</div> <div>②保留ボタンにてデータを削除後、転送ボタンにて削除確定することで、削除できます。</div> <div>●プログラム画面説明</div> <div><div><div>90-14-01</div><div>CS バンゴウ1</div><div>←→</div></div><div>・プログラム番号の小項目を切り換えるには</div><div><div>応答</div>ボタンを押すと、以下の画面になります。</div><div>ここで、ソフトキー「↑」「↓」押すと、プログラム番号が切り換わりますので、希望のプログラム番号のところでソフトキー「センタク」を押すと、そのプログラムに入ります。</div><div><div><div>90-14-01</div><div>CS バンゴウ1</div><div>モデル↑↓センタク</div></div></div></div>		

プログラム番号	90-15-01	
プログラム名称	セルステーションのソフトウェアダウンロード	
説明	セルステーションに組み込まれているソフトウェアを入れ換えて、最新のバージョンにしたり、前のバージョンに戻します。	
入力データ	セルステーション番号：0＝全セルステーション 1～128 動作モード番号：1＝New（ダウンロードする） 2＝Restore（前のバージョンに戻す）	
初期値		
備考／メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ダウンロードには1台当たり約2分かかります。</li> <li>●動作終了後プログラムモードから出ると、全セルステーションがリセットされます。</li> </ul>	

プログラム番号	90-16-□□	
プログラム名称	CPU ボードのメインソフトウェア情報確認	
説明	CPU ボードに組み込まれているメインソフトウェアの情報を確認します。 【90-16-01】メインソフトウェアのバージョンを確認します。 【90-16-02】メインソフトウェアの作成日時を確認します。	
入力データ		
初期値		
備考／メモ		

プログラム番号	9 1 - 0 1 - 0 1	
プログラム名称	子機登録	
説明	システムに使用する子機の登録をします。	
入力データ	1 = アルファ PHS 子機用登録、2 = 自営 3 版用 PHS 子機登録 (通常は「1 = アルファ PHS 子機用登録」で子機登録を行います。)	
初期値		
備考／メモ	●子機登録は、プログラム番号【91-03-01】で設定されているセルステーションを使用して行います。	

プログラム番号	9 1 - 0 2 - 0 1	
プログラム名称	子機削除	
説明	システムに使用している子機の登録を削除します。	
入力データ	内線ポート番号 (PS 番号) : 0 = 全子機登録削除 2 5 7 ~ 5 1 2	
初期値		
備考／メモ	<p>●子機削除を実行した内線ポート番号に割り付けられている内線番号の機能ボタン設定は消去されます。          削除した内線ポート番号に対し再度子機登録実行し完了すると、機能ボタン設定は、その内線ポート番号に割り付けられている内線番号が</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インカム通話グループメンバーにすでに登録してある場合：初期設定されます。(  2 4 ページ)</li> <li>・インカム通話グループメンバーに登録していない場合：消去されたままとなります。</li> </ul>	



プログラム番号	9 1 - 0 3 - 0 1	
プログラム名称	子機登録用セルステーション設定	
説明	子機登録を行うときに使用するセルステーションを設定します。	
入力データ	セルステーション番号 1 ~ 1 2 8	
初期値	1 (セルステーション番号 = 1)	
備考／メモ	●このプログラム番号は、より近くに設置されているセルステーションで子機登録を行う場合などに使用します。	

プログラム番号	9 1 - 0 4 - 0 1	
プログラム名称	PS 番号による子機登録	
説明	システムに使用する子機の登録をします。子機登録の際に、PS 番号として割り当てる番号を指定できます。	
入力データ	PS 番号：2 5 7 ～ 5 1 2 子機登録モード：1＝アルファ PHS 子機用登録、2＝自営 3 版用 PHS 子機登録 （通常は「1＝アルファ PHS 子機用登録」で子機登録を行います。）	
初期値		
備考／メモ	●子機登録は、プログラム番号【91-03-01】で設定されているセルステーションを使用して行います。 ●指定した PS 番号が無効またはすでに別の PS に割り当てられている場合は、エラーが表示されます。	

プログラム番号	9 1 - 0 5 - 0 1	
プログラム名称	内線番号による子機登録	
説明	システムに使用する子機の登録をします。子機登録の際に、子機を呼び出すための内線番号を指定できます。	
入力データ	内線番号：最大 8 桁 子機登録モード：1 = アルファ PHS 子機用登録、2 = 自営 3 版用 PHS 子機登録 (通常は「1 = アルファ PHS 子機用登録」で子機登録を行います。)	
初期値		
備考／メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子機登録は、プログラム番号【91-03-01】で設定されているセルステーションを使用して行います。</li> <li>●指定した内線番号が無効またはすでに別の PS に割り当てられている場合は、エラーが表示されます。</li> </ul>	

プログラム番号	9 2 - 0 3 - 0 1	
プログラム名称	内線ポート番号による設定データコピー	
説明	システムデータとして設定されているデータを別の内線ポート番号にコピー（上書き）します。	
入力データ	<p>コピー機能番号：コピーする機能番号（プログラム番号）を入力します。  （例）プログラム番号【15-07-01】の場合：1 5 0 7</p> <p>コピー元 内線ポート番号：1～5 1 2  コピー先 開始 内線ポート番号：1～5 1 2  コピー先 終わり 内線ポート番号：1～5 1 2</p>	
初期値		
備考／メモ		

## 多機能電話機での文字入力のしかた

プログラムモードで文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを押して入力します。各ボタンを押したときに入力される文字は以下の文字入力一覧表をご覧ください。

### ●文字入力一覧表

かな入力モードと英数字入力モードを切り換えるときは、**フック**ボタンを押します。

#### かな入力モード時

ダイヤル ボタン	ダイヤルボタンを押す回数													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
①	ア	イ	ウ	エ	オ	7	イ	ウ	エ	オ	「ア」に戻る			
②	カ	キ	ク	ケ	コ	「カ」に戻る								
③	サ	シ	ス	セ	ソ	「サ」に戻る								
④	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	「タ」に戻る							
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	「ナ」に戻る								
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	「ハ」に戻る								
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ	「マ」に戻る								
⑧	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	「ヤ」に戻る							
⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ	「ラ」に戻る								
⑩	ワ	ヲ	ン	「ワ」に戻る										
*	“	°	ー	。	「	」	、	・	「”」に戻る					
#	確定	空白												

#### 英数字入力モード時

ダイヤル ボタン	ダイヤルボタンを押す回数													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
①	1	@	[	¥	]	^	_	`	{		}	→	←	「1」に戻る
②	A	B	C	a	b	c	2	「A」に戻る						
③	D	E	F	d	e	f	3	「D」に戻る						
④	G	H	I	g	h	i	4	「G」に戻る						
⑤	J	K	L	j	k	l	5	「J」に戻る						
⑥	M	N	O	m	n	o	6	「M」に戻る						
⑦	P	Q	R	S	p	q	r	s	7	「P」に戻る				
⑧	T	U	V	t	u	v	8	「T」に戻る						
⑨	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9	「W」に戻る				
⑩	0	!	“	#	\$	%	&	'	(	)	「0」に戻る			
*	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>	?	「*」に戻る	
#	確定	空白												

## ●文字入力操作例

“ススキB”と入力する場合

1 ③を3回押します。

=ス

2 #を1回押します。

=ス

3 ③を3回押します。

=スス

4 \*を1回押します。

=スズ

5 ②を2回押します。

=スズキ

6 #を1回押します。

=スズキ

7 フックを押します。

=スズキ B

8 ②を2回押します。

=スズキ B



## 入力を間違えたときは

会議ボタンを押すと、1文字消去されます。修正したい文字まで戻って、入力し直してください。

## 子機設定ソフトウェアについて

### インストール

ご使用になる前に、PCに子機設定ソフトウェアをインストールする必要があります。

ご使用になる子機設定ソフトウェア添付のマニュアルをご覧になり、PCにインストールしてください。

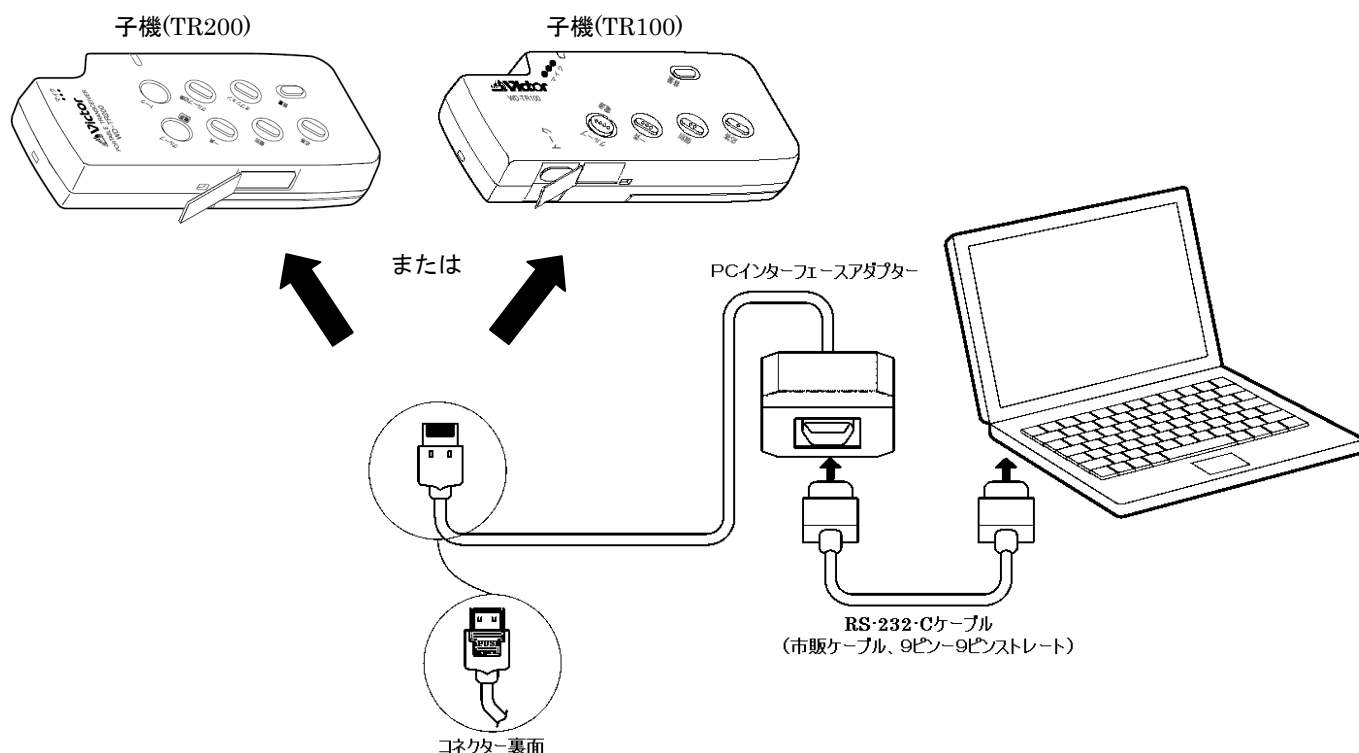
ここでは、子機設定ソフトウェアとして「WD-TR200/WD-TR100 子機設定ソフトウェア」を例として説明します。

### 子機とPCの接続

子機とPCは、下図のように接続します。

子機とPCインターフェースアダプターを接続するケーブルは、コネクタの「PUSH」と書いてある面を下にします。

子機とPCを下図のように接続してから、子機の電源を入れてください。



- ◆子機とPCインターフェースアダプターを接続するケーブルのコネクターについて
  - ・上図のように、「PUSH」と書いてある面を下にして接続してください。
  - ・「PUSH」と書いてある部分を押しながら、抜き差ししてください。



- ◆RS-232-C準拠のシリアルインターフェースが実装されていないパソコンへの接続  
パソコンにUSBインターフェースが実装されていれば、市販の「RS-232-C ↔ USB変換アダプター」などを介して接続することができます。次の動作確認済みのもの、または、同等品をご使用ください。
  - ・USBtoシリアルケーブル UC-SGT (エレコム(株)製)

これ以降では、子機の各種設定のしかたについて説明します。

まず、子機設定ソフトウェアを起動して、メニュー画面で『子機設定登録モード』をクリックします。

## 本体 SW 動作モードの設定

### ■子機(TR200)の場合

本体 SW 動作モードは「短アサイン」のみとなりますので、設定変更は行なえません。

### ■子機(TR100)の場合

本体 SW 動作モードは「短アサイン」と「短／長アサイン」から選択できます。

「短アサイン」に設定すると、「本体 SW 長押し確定時間」、SW1～SW3 の「スイッチ長押し」の変更はできません。

「短／長アサイン」に設定すると、1つの機能ボタン(SW1～SW3)に2つの機能を設定できます。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

## 本体 SW 長押し確定時間の設定

### ■子機(TR200)の場合

本体 SW 動作モードは「短アサイン」のみとなりますので、設定変更は行なえません。

### ■子機(TR100)の場合

「本体 SW 動作モード」の設定で「短／長アサイン」を選択した場合は、機能ボタンの長押し確定時間を変更できます。

「短アサイン」を選択した場合は、変更できません。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。



## 機能ボタンへの機能割り付け

機能ボタンを押したときに実行される機能の割り付けは、システムデータ設定により行います。子機設定ソフトウェアでは、スイッチ名称を付与するだけです。

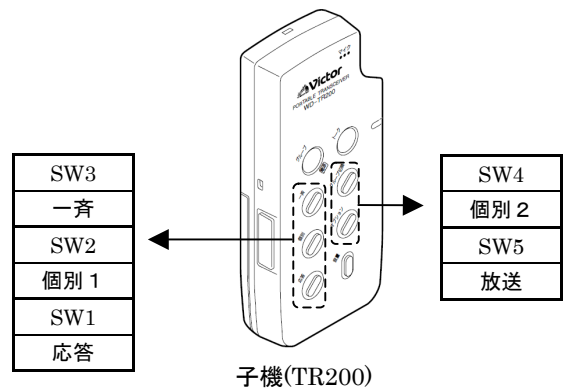
子機設定ソフトウェアでのスイッチ名称とプログラム番号【15-07-01】でのキー名称は、下表のように対応しています。

子機設定ソフトウェアでのスイッチ名称	プログラム番号【15-07-01】でのキー名称
一斉	キー 0 2
個別 1	キー 0 3
個別 2	キー 0 4
放送	キー 0 5
応答	キー 0 6

### ●子機(TR200)の場合

本体スイッチについては、工場出荷設定のままでご使用ください。変更すると正しく機能ボタン設定がされない場合があります。変更を行った場合は、以下のように変更を工場出荷設定に戻してください。

リモコンスイッチについては、上記対応表にしたがって付与したいスイッチ名称に変更することができます。設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。



子機設定ソフトウェア「WD-TR100 設定プログラム」では、本体スイッチ、リモコンスイッチの設定変更は行なえません。

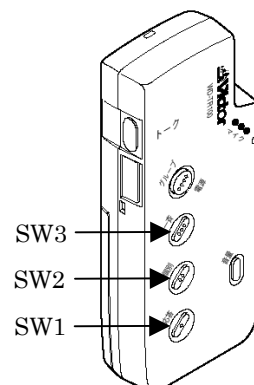
### ●子機(TR100)の場合

「本体 SW 動作モードの設定」で「短／長アサイン」を選択した場合のみ、本体スイッチ「スイッチ長押し」のスイッチ名称だけを以下のように変更してください。それ以外については、以下のような工場出荷設定のままでご使用ください（変更すると正しく機能ボタン設定がされない場合があります）。

リモコンスイッチについては、上記対応表にしたがって付与したいスイッチ名称に変更することができます。

設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。

また、機能「なし」と設定されている SW を使用する場合には、上記対応表にしたがって付与したいスイッチ名称に変更してください。



## 音量レベルの設定

子機(TR200)、子機(TR100)とも同様に設定できます。  
各項目のスライダーのつまみをドラッグし、変更したい位置まで動かします。  
設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。



- ・受話音量 : イヤホンの音量を設定します
- ・サイドトーンゲイン : イヤホンから聞こえる自分の声の音量を設定します
- ・マイクアンプゲイン : マイクの音量を設定します
- ・トーンジェネレータ出力レベル : イヤホンから聞こえるいろいろなお知らせ音の音量を設定します

### 注意

- 子機使用中に音量ボタンで受話音量を変更した後に子機の電源を切ると、そのときの受話音量が保存されます。
- トーンジェネレータ出力レベルでは、子機内部で生成される以下のお知らせ音の音量が変更できます。
  - ・圏外お知らせ音（400Hzのトーンで500msON、500msOFFの繰り返し）
  - ・電池残量警告音（800Hzのトーンで125msON、250msOFF、125msONを10秒に1回鳴動）
  - ・異常警告音（800Hzのトーンで125msON、125msOFFの繰り返し）

## 圏外お知らせ音の設定

子機(TR200)、子機(TR100)とも同様に設定できます。  
子機が圏外に出たときにイヤホンから聞こえる圏外お知らせ音の設定します。  
設定は、「設定書き込み」をクリックすることで子機に保存されます。




- ・圏外時常に鳴動する : 圏外時に常に圏外お知らせ音が聞こえます
- ・圏外時トークボタン押で鳴動する : 圏外時にトークボタンを押したとき圏外お知らせ音が聞こえます  
(工場出荷設定)
- ・圏外時常に鳴動しない : 圏外時に圏外お知らせ音は聞こえません

## ■こんなときは

### インカムの通話グループ定員数の変更ができない

#### ■通話グループ 1～8 までの定員数の合計は 62 を超える設定はできません

通話グループ 1～8 までの定員数の合計は 62 以内に設定してください。通話グループの定員数とは、インカムに参加できる端末数とに 1（リザーブチャンネル）を加えた数です。  17 ページ

#### ■通話グループに参加中の端末があると変更できません


すべての端末が通話グループから抜けてから行ってください。

- ・多機能電話機：内線電話モードにする。（プログラムモードにしても、通話グループから抜けたままになります）
- ・子機：電源を切る。
- ・放送入出力ユニット（グループ通話参加）：放送入出力ユニットからモジュラーケーブルを抜く。

### インカムの個別グループの設定の変更ができない

#### ■通話グループ 1～8 までの定員数合計が 59 以上の場合、個別グループは使用できません

インカムで使用するハードウェア資源の数は、最大 62 チャンネルです。また、1 つの個別グループはハードウェア資源を 3 チャンネル使用します。したがって、個別グループは以下の式が成り立つ場合に使用できます。

 17 ページ

$$1 \geq (62 - \text{「リザーブチャンネルを含む通話グループ 1～8 の定員数の合計」}) \div 3$$

→ 使用できる個別グループ数になります


#### ■通話グループに参加中の端末があると変更できません

すべての端末が通話グループから抜けてから行ってください。

- ・多機能電話機：内線電話モードにする。（プログラムモードにしても、通話グループから抜けたままになります）
- ・子機：電源を切る。
- ・放送入出力ユニット（グループ通話参加）：放送入出力ユニットからモジュラーケーブルを抜く。

### 子機登録が正常に終了しない

#### ■子機登録が行えるセルステーションが近くにないと行なえません

子機登録が行なえるセルステーションはシステムに 1 台のみであり、プログラム番号【91-03-01】で設定できます。工場出荷設定では、セルステーション番号「1」のセルステーションが子機登録が行なえるセルステーションに設定されています。  42 ページ


セルステーション番号「1」のセルステーションが子機登録作業を行なう場所の近くにならない場合は、次の手順で子機登録が行なえるセルステーションを変更して、再度子機登録を行なってください。

- 1 「システム設定データシート」に記載したセルステーションの設置場所記録、あるいは、プログラム番号【83-01-06】などで近くにあるセルステーションのセルステーション番号を調べて、子機登録が行なえるセルステーションにしたいセルステーションのセルステーション番号をメモします。
- 2 プログラム番号【91-03-01】に、手順 1 でメモしたセルステーション番号を設定します。  
これで、子機登録が行なえるセルステーションを変更は完了です。

#### ■PS 番号、暗証番号が一致しないと子機登録失敗となります


子機設定ソフトウェアの子機登録エラー内容の欄に「子機番号不一致」と表示された場合は、PS 番号が誤っています。また、「暗証番号不一致」と表示された場合は、暗証番号が誤っています。

次の手順でもう一度子機登録を行なってください。


- 1 子機を PC に接続している場合は、子機設定ソフトウェアの「子機交換」をクリックします。子機を PC に接続していない場合は、接続して手順 2 に進みます。
- 2 子機設定ソフトウェアの「接続確認完了」をクリックします。
- 3 システム設定の手順の子機登録に従って、子機登録動作を行ないます。このとき、子機設定ソフトウェアでは、多機能電話機の LCD に表示された PS 番号、暗証番号を間違えずに入力した後、「設定書き込み」を忘れずにクリックしてください。  15 ページ

## 子機がインカムの通話グループに参加できない

### ■子機登録を行なわないとシステムに接続できません

子機登録を行なってください。  15 ページ

### ■インカム通話グループのメンバー登録を行なわないと参加できません


この場合は、子機の電源ランプ、音量ランプは次のように表示されます。インカム通話グループのメンバー登録を行なってください。  18 ページ

ランプ名称		表示
電源ランプ		緑点滅
音量表示ランプ	1	消灯
	2	赤点灯
	3	消灯

(注1) 電源ランプは、電池残量が少ないときは赤点滅(300ms 周期)になります。

(注2) 音量ランプは、音量ボタンを押している間は音量表示になりますので、音量ボタンを押さないで確認してください。

### ■グループが定員に達しているときは参加できません

グループ定員数を増やしてください。  17 ページ

この場合は、子機の電源ランプ、音量ランプは次のように表示されます。

ランプ名称		表示
電源ランプ		赤点灯
音量表示ランプ	1	赤点灯
	2	消灯
	3	消灯

(注1) 電源ランプは、電池残量が少ないときは赤点滅(300ms 周期)になります。

(注2) 音量ランプは、音量ボタンを押している間は音量表示になりますので、音量ボタンを押さないで確認してください。

同じグループの他の子機の電源を切ると接続できるか確認してください。

### ■近くに空いているセルステーションがないと接続できません

この場合は、子機の電源ランプ、音量ランプは次のように表示されます。

ランプ名称		表示
電源ランプ		赤点灯
音量表示ランプ	1	赤点灯
	2	消灯
	3	消灯

(注1) 電源ランプは、電池残量が少ないときは赤点滅(300ms 周期)になります。

(注2) 音量ランプは、音量ボタンを押している間は音量表示になりますので、音量ボタンを押さないで確認してください。

ほかの子機の電源を切ると接続できるか確認してください。

セルステーション1台で接続できる子機は、最大3台です。したがって、使用状態によっては、セルステーションの増設が必要となる場合もあります。

### ■近くにセルステーションがないと接続できません

この場合は、子機の電源ランプ、音量ランプは次のように表示されます。

ランプ名称		表示
電源ランプ		赤点灯
音量表示ランプ	1	消灯
	2	消灯
	3	消灯

(注1) 電源ランプは、電池残量が少ないときは赤点滅(300ms 周期)になります。

(注2) 音量ランプは、音量ボタンを押している間は音量表示になりますので、音量ボタンを押さないで確認してください。

セルステーションの電波が届く範囲内でないと接続できません。したがって、使用状態によっては、セルステーションの増設が必要となる場合もあります。

### ■子機の電池残量がないと接続できません

この場合は、子機の電源ランプ、音量ランプは次のように表示されます。電池を交換してください。


ランプ名称		表示
電源ランプ		赤点滅
音量表示ランプ	1	消灯
	2	消灯
	3	消灯

(注1) 電源ランプは、150ms 周期に赤点滅します。


(注2) 音量ランプは、音量ボタンを押している間は音量表示になりますので、音量ボタンを押さないで確認してください。

## 多機能電話機がインカムの通話グループに参加できない

### ■インカム通話グループのメンバー登録を行なわないと参加できません

インカム通話グループのメンバー登録を行なってください。  18 ページ

### ■グループが定員に達しているときは参加できません

グループ定員数を増やしてください。  17 ページ


## 放送入出力ユニット経由で音の入力または出力ができない

### ■内部のスイッチ設定を変更する必要な場合があります


放送入出力ユニットの動作モードには次の2つがあり、動作モードの切り換えは放送入出力ユニット内部のスイッチ設定で行います。詳しくは、設置説明書（工事説明書）をご覧ください。

- ・インカム通話グループ参加モード（工場出荷設定）
- ・放送モード


### ■電話機接続ボードの端末情報の削除が必要な場合があります

電話機接続ボードでは接続した端末情報を記憶しています。電話機接続ボードの端末接続コネクタにおいて、一度端末を接続したコネクタ位置に別の端末を接続する場合は、そのコネクタ位置から端末を抜き取り、プログラム番号【10-03-□□】で端末情報を削除してから、新たな端末を接続してください。  42 ページ


### ■放送入出力ユニット経由でインカムに音を入力する場合は、通話グループのメンバー登録を行なわないと、入力できません

インカム通話グループのメンバー登録を行なってください。  21 ページ


### ■放送入出力ユニット経由でインカムの音を出力する場合は、通話グループのメンバー登録を行なわないと、出力できません

インカム通話グループのメンバー登録を行なってください。  21 ページ

### ■放送入出力ユニットをインカムに参加させて「ペア使用しない」場合は、入出力タイプ設定の変更が必要な場合があります

プログラム番号【33-01-01】で入出力タイプ設定を確認してください。  21 ページ

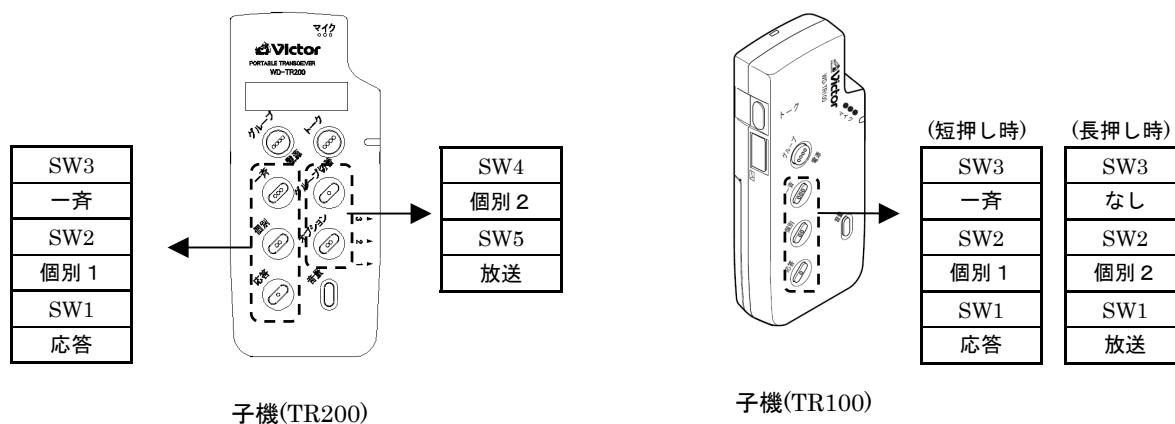
### ■放送入出力ユニット経由で放送する場合は、放送グループの設定が必要な場合があります

放送グループの設定をご覧ください。  26 ページ

## 子機の機能ボタンが正常に動作しない

子機設定ソフトウェアで機能ボタンの設定変更を行うと、正しく設定されない場合があります。子機設定ソフトウェアで機能ボタンの変更を行った場合は、以下のように変更を元に戻してください。その後、子機の機能ボタン、多機能電話機のフアンクションボタンの設定に従って、設定を行ってください。

📖 24 ページ



(注 1) 表の上段は子機設定ソフトウェアでのスイッチ名称、下段は機能名称です。

(注 2) 子機(TR100)で SW3 を長押しで使用する場合には、子機設定ソフトウェアで機能を割り付けてください。子機設定ソフトウェアでのスイッチ名称とプログラム番号【15-07-01】でのキー名称は下表のように対応しています。

子機設定ソフトウェアでのスイッチ名称	プログラム番号【15-07-01】でのキー名称
一斉	キー 0 2
個別 1	キー 0 3
個別 2	キー 0 4
放送	キー 0 5
応答	キー 0 6

## グループ切り換えができない

### ■切り換え先グループが定員に達しているときは参加できません

グループ定員数を増やしてください。 📖 17 ページ

## 内線ポート番号から内線番号を調べる

プログラム番号【11-02-01】で調べます。

👉 42ページ

プログラムモード  
 キホン サービス オフ 1 オフ 2

1 ① ① ① ② ① を押します。

11-02-01 ナイセンポート 1  
 ナイセンパンゴウ 100  
 ← →

2 再/短ボタンでカーソルを「内線ポート番号」に移動させて、登録する端末の内線ポート番号を入力します。

・例. 内線ポート番号 257 の場合

② ⑤ ⑦ と押します。

11-02-01 ナイセンポート 257  
 ナイセンパンゴウ 200  
 ← →

この表示例では、内線ポート番号 257 の内線番号は「200」です。

・終了する場合は、応答ボタンを4回押します。

## 内線番号から内線ポート番号を調べる

(1) 操作している多機能電話機のポート番号を確認する場合

Help

○を押した後、発信ボタンを押すと、次の確認画面が表示されます。

内線番号 ——— チェック 100 XXXXXXXXXXXXX  
 内線ポート番号 ——— PORT-001 GP-01

Exit

○を押すと、内線電話モードに戻ります。

(2) 内線番号を指定してポート番号を確認する場合

Help

○を押した後に内線番号を入力すると、次の確認画面が表示されます。

入力した内線番号が多機能電話機、または、  
子機に割り当てられている場合

内線番号 ——— チェック 100 XXXXXXXXXXXXX  
 内線ポート番号 ——— PORT-001 GP-01

Exit

○を押すと、内線電話モードに戻ります。

入力した内線番号が放送入出力ユニット（グ  
ループ通話参加）に割り当てられている場合

チェック ACI  
 NO-300 PORT-001  
 ↑ ↑  
 内線番号 内線ポート番号



確認画面に表示される「GP-□□」は、インカムの通話グループとは関係がありません。

## 放送入出力ユニットのポート番号を調べる

### ■放送入出力ユニット(放送)の場合

プログラム番号【10-03-□□】で確認します。

🔍 4 2 ページ

プログラムモード			
10	03	01	01

1 ① ① ③ ① を押します

10-03-01	スロットバンク01
ESIポート01	CH1 1:TEL 11
← -1 +1 →	

2 確認したい放送入出力ユニット(放送)を接続した電話機接続ボードが実装されているスロット番号に音量ボタンであわせます。

10-03-01	スロットバンク01
ESIポート01	CH1 1:TEL 11
← -1 +1 →	

3 ソフトキー「←」「→」でカーソルを「ESIポート番号」に移動させて、確認したい放送入出力ユニット(放送)が接続されているポートにソフトキー「-」「+」であわせます。

・表示例

10-03-01	スロットバンク01
ESIポート08	CH1 6:ホウソウ
← - +1 →	

種別

4 ソフトキー「←」「→」でカーソルを「設定項目」に移動させて、**転送**ボタンを押します。

・表示例

10-03-02	スロットバンク01
ESIポート08	CH1 6 1
← -1 +1 →	

ポート番号

・手順3と手順4の表示例では、この放送入出力ユニットのCH1は「種別：放送、ポート番号(スピーカー番号)：1」であることが確認できたことになります。

5 **転送**ボタンを4回押します。

・表示例

10-03-06	スロットバンク01
ESIポート08	CH2 6:ホウソウ
← -1 +1 →	

種別

6 **転送**ボタンを押します。

・表示例

10-03-07	スロットバンク01
ESIポート08	CH2 6: 2
← -1 +1 →	

ポート番号


・手順5と手順6の表示例では、この放送入出力ユニットのCH2は「種別：放送、ポート番号(スピーカー番号)：2」であることが確認できたことになります。

・終了する場合は、**応答**ボタンを4回押します。



## ■放送入出力ユニット(グループ通話参加)の場合

放送入出力ユニット(放送)の場合と同様に、プログラム番号【10-03-□□】で確認します。

 42ページ、112ページ

・表示例

種別：グループ通話参加

ポート番号：1

10-03-01	スロットバンク01
ESIポート08	CH1 9:ACI ←+1
←	— + —→


種別

10-03-02	スロットバンク01
ESIポート08	CH1 9: 1 ←
←	— + —→

ポート番号

## 外線のポート番号を調べる

プログラム番号【10-03-□□】で確認します。

 42ページ

プログラムモード
キホシ サービス オフ 1 オフ 2

1 ①①①③①を押します

10-03-01	スロットバンク01
ESIポート01	CH1 1:TEL 11
←	—1 +1 —→

2 確認したい電話回線接続ボードが実装されているスロット番号に音量ボタンであわせます。

10-03-01	スロットバンク08
ESIポート01	CH1 1:TEL 11
←	—1 +1 —→

3 ソフトキー「←」「→」でカーソルを「COIポート番号」に移動させて、確認したい外線が接続されているポートにソフトキー「-」「+」であわせて、確認します。

・表示例

10-03-01	スロットバンク08
COIポート01	ポート 1
←	— + —→

## 使用していた子機を代替子機と入れ替える

子機故障などで代替子機と入れ替える場合は、次の手順で行ないます。

子機削除を行うと機能ボタン設定が削除されますので、入れ替え対象子機の機能ボタン設定を一時的に保存しておき、代替子機にコピーする必要があります。

- (1) 入れ替え対象子機の機能ボタン設定を一時保存する
- (2) 入れ替え対象子機を子機削除する
- (3) 代替子機を子機登録する
- (4) 代替子機に機能ボタン設定をコピーする
- (5) 一時保存した設定を削除する

### ■ 入れ替え対象子機の機能ボタンを一時保存する

入れ替え対象子機の機能ボタン設定を、257～356の間で子機登録していないPS番号（内線ポート番号）に一時保存します（推奨番号：356）。

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

- 1 ⑨ ② ① ③ ① を押します。

92-03-01			
コピーノウ			
←	—	+	→

- 2 ① ⑤ ⑦ を押して、**転送**ボタンを押します。（コピーする項目として、プログラム番号【15-07-01】を設定したことになります。）

92-03-01			
コピーモード			
←	—	+	→

- 3 入れ替え対象子機のPS番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

92-03-01			
コピーサキ カイシ			
←	—	+	→

- 4 257～356の間で使用していない内線番号子機のPS番号（推奨番号：356）を入力し、**転送**ボタンを押します。（このPS番号に一時保存します。）

92-03-01			
コピーサキ オワリ			
←	—	+	→

- 5 手順4で入力したPS番号と同じ番号を入力し、**転送**ボタンを押します。

92-04-		コピーコメント	
デンスキータスワップ			
モデル	↑	↓	センタク

- 6 **応答**ボタンを2回押します。

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

## ■ 入れ替え対象子機を子機削除する

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

- 1 (9) (1) (0) (2) (0) (1) を押します。

91-02-01
PHS コキサクジ ョ
← →


- 2 入れ替え対象子機の PS 番号を入力し、**転送** ボタンを押します。

91-03-	PHS コキトウロク
コキトウロク CS	
モデル ↑ ↓ センタク	

- 3 **応答** ボタンを 2 回押します。

プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

## ■ 代替子機を子機登録する

PS 番号を指定して、『子機登録』 (  15 ページ ) と同様な手順で代替子機を子機登録します。


プログラムモード			
キホン	サービス	オフ 1	オフ 2

- 1 (9) (1) (0) (4) (0) (1)

91-04-01
PHS トウロク PS NO
← →


- 2 『入れ替え対象子機を子機削除する』で削除した内線ポート番号 (PS 番号) を入力し、**転送** ボタンを押します。

91-04-01
アルファ (1) / ジェイ (2) ?
← →

- 3 以降、『子機登録』 (  15 ページ ) と同様な手順で代替子機を子機登録します。

## ■ 代替子機に機能ボタン設定をコピーする

『入れ替え対象子機の機能ボタン設定を一時保存する』（ 114 ページ）と同様な手順で、代替子機に一時保存した機能ボタン設定を代替子機にコピーします。

- ・「コピーモト」には、手順 4 で入力した PS 番号を入力します。（推奨番号：356）
- ・「コピーサキ」には、『代替子機を子機登録する』（ 115 ページ）で子機登録した PS 番号を入力します。

## ■ 一時保存した設定を削除する

『入れ替え対象子機の機能ボタン設定を一時保存する』（ 114 ページ）と同様な手順で、一時保存した機能ボタン設定を削除します。

- ・「コピーモト」には、257～356 の間で使用していない子機の PS 番号（推奨番号：355）を入力します。
- ・「コピーサキ」には、手順 4 で入力した PS 番号を入力します。（推奨番号：356）

---

メモ（ご自由にお使いください）

## お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045)450-8950** [代表]

FAX **(045)450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

## 日本ビクター株式会社 プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町 2969-2 電話 (0426) 60-7203